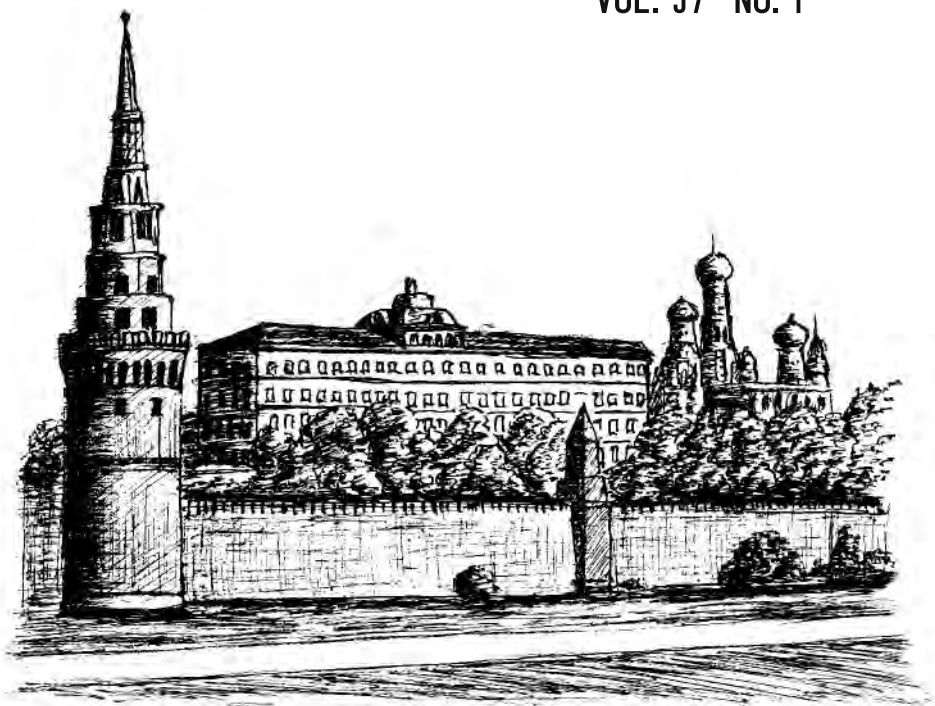


季刊・令和3年1月15日発行・第57巻第1号（通巻489号）

ISSN 0014-9586

Feed Trade

VOL. 57 NO. 1



Russia

2021

1
~3

飼料輸出入協議会

JAPAN FEED TRADE ASSOCIATION

2021年 1～3月号



目 次

新春のご挨拶／萬田 義人……	(2)
年頭のご挨拶／水田 正和……	(6)
<新春海外だより>	
モスクワ／川田 健晴……	(11)
ニューヨーク／山口(TJ)大河……	(16)
シカゴ／谷 村 丈……	(23)
カイロ／本多 俊孝……	(28)
シンガポール／村中優二郎……	(36)
上海／長塩 政明……	(41)
プノンペン／川井田拓光……	(44)
ホーチミン／鹿田 昌寛……	(49)
シリーズ●わが社「自慢の逸品」——第26回	
たんとなのご紹介／井 田 歩……	(56)
シリーズ各地の食生活——第4回	
関西グルメのある一品「明石焼き」／仲井 研也……	(60)
2020年10大トピックス……	(67)
第52回(2020年)新春アンケート当選者発表……	(68)
第53回(2021年)Feed Tradeアンケートのご案内……	(69)
シリーズ●各商社の担当者紹介② 株式会社カーギルジャパン	
わが社の主原料担当者／三村 賢司……	(70)
New Balance<4>／岩崎 正典……	(77)
『Feed Trade』総目次(2020年1～3月号～10～12月号)……	(92)
編集後記……	(96)

新春の



飼料輸出入協議会理事長

謹賀新年。

年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸をお喜び申し上げます。旧年中は関係者の皆様方より、格別のご厚誼に預かり御礼申し上げます。飼料輸出入協議会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

最初に、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、世界各国でお亡くなりになられた皆様に謹んで哀悼の意を表させていただくとともに、現在も闘病中の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様には、感謝の言葉しかございません。

2020年は忘れられない年になるでしょう。人々の移動は制限され、政治や経済は混乱し、多くの人の命が奪われることに心が傷つき、当たり前のことが当たり前でなくなった一年でした。食糧リスクも顕在化したのが、昨年だったのではないのでしょうか。COVID-19による輸送力の減少と穀物輸出国のさじ加減で食糧不足に陥るリスクを覚醒させました。サプライチェーンの多角化は、避けられないことを再認識したところです。さらに昨年は、年初から世界的な食糧危機を連想させ



ご挨拶

萬田 義人

(豊田通商(株)穀物第一部長)

る自然現象が起きました。アラビア半島から南アジアにかけてバッタが大発生、中国では大雨による洪水で穀倉地帯が浸水、アフリカ豚熱もアジア各国に広がりました。COVID-19に見舞われる一方、世界の食糧事情を脅かすような深刻な現象が次々と発生している事実、警戒感が高まります。こういった現象の一因と考えられる昨年のCO₂排出量は、社会・経済活動の制限で世界気象機関（WMO）が前年比4.2～7.5%減と予測しています。しかしながら、これまでの蓄積で20年の温暖化ガスの大気中濃度は、過去最高になる見通しです。ESGの観点からも長期的な視野を持って、持続可能な社会の実現が求められます。

業界の振り返りをしますと、まず供給地側の穀物市況に関しましては、夏場のアイオワ州を襲ったハリケーンの影響、中国の予想をはるかに超える需要により、潤沢在庫から弱気でスタートした市場が、徐々に強気相場に転じていきました。南米ではラニーニャ現象によって引き起こされた乾燥のため、例年よりも遅い作付けとなり、2021年の南米の収穫量が減少する懸念、さらには中国が記録的な米国大豆を購入

したことが、穀物相場を押し上げる要因となりました。一方、中国ではコーン需要の高まりや大豆を含め、輸入の多くが貿易摩擦を起こしている米国とあって、中国は今後ブラジルからコーンの輸入を開始することも予想されています。中国のコーン消費量は4年連続で自国生産量を上回っており、それに伴い輸入数量も増加傾向にあります。世界最大の消費量を誇る中国コーン輸入の方針変更は、現在の世界需給環境を大きく塗り替えることになると考えます。

次に消費地側ですが、COVID-19の感染「第三波」を受け、外食産業の売上回復にブレーキがかかってしまいました。さらには、外出自粛や営業時間の短縮要請で客足が再び遠のいてしまったため、畜産・水産物の出荷は巢ごもり需要があるものの再び低調傾向にあります。畜肉関連は特に、キャンペーンなどが寄与して、上向いてきていただけに残念な状況です。一方、鶏卵は大手生産者中心の増羽がここ数年続いており、生産量が250万トン前後で推移していた3年前までから、10万トン程度増加しています。相場が弱いのはCOVID-19の影響も確かにありますが、需給バランスや構造的な問題がある場合、COVID-19の終息とは関係なく市況回復に時間を要するかもしれないという懸念

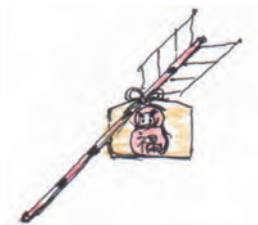


が残ります。また、西日本を中心に猛威を振るっている鳥インフルエンザの感染が、拡大している状況に不安を隠せません。こちらの早期収束も願うばかりです。

いまだに先行きが見通せない環境下にあるものの、ワクチン開発も進み、明るい兆しも見えてきています。今後の新しい日常「ニューノーマル」をどのように生きるか、様々な試行錯誤を続けなければなりません。また、今年に延期となりました東京オリンピック2020の無事の開催で、VRやAR技術の活用が高速規格通信「5G」のスタートにより、リモートでも臨場感溢れる映像が堪能でき、世の中が元気を取り戻すことを期待します。日本の首相も米国の大統領も代わり、COVID-19対策の舵取りを含めまして、政治、経済、外交等がより安定していくことを願いつつ、飼料畜産業界並びに監督官庁の関係者皆さまのご協力を賜りながら、業界の更なる発展のために本年もご期待に沿える努力をして参ります。何卒、倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎えるに当たり、年頭のご挨拶を申し上げます。

○ 新型コロナウイルス感染症への対応等

昨年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国内ではインバウンド需要の減衰等により、国内畜産業は甚大な影響を受けました。

和牛肉につきましては、インバウンド・外食需要の減少により、枝肉価格が大幅に下落し、それに伴う牛肉在庫の滞留や子牛価格の下落などが起こりました。そのような中、農林水産省としては、和牛肉の学校給食への提供や冷凍保管経費の支援、販売奨励金の交付、肥育農家への支援等を通じて、食肉事業者や肉用牛農家の皆様を支援してきたところです。その後、経済活動の再開もあり、昨年12月には和牛枝肉価格、子牛価格ともに前年を超える水準まで回復してきております。

牛乳・乳製品につきましては、休校による学乳停止や業務用需要の減少による春先の需給緩和に対応するため、生乳を長期保存可能な脱脂粉乳やバターに仕向ける取組や、在庫が高水準となった脱脂粉乳を飼料用など需要がある分野で活用する取組への支援に加え、プラスワンプロジェクトによる牛乳消費の喚起も行いました。こうした取組と、指定団体やメーカーの皆様方の



農林水産省生産局長
水 田 正 和



ご尽力により，行き場を失う生乳を発生させることなく乗り切ることができました。引き続きバター，脱脂粉乳の在庫が高水準にある中，年始から春先の不需要期を迎えることから，今後の需給を注視しつつ，必要に応じて適切に対策を講じてまいります。

○ 最近の国際情勢等

畜産を取り巻く国際情勢につきましては，TPP11及び日EU・EPAに続いて，昨年1月に日米貿易協定が発効し，昨年10月には日英EPA，11月にはRCEPが署名されるなど，我が国の畜産業は新たなステージに入っております。このような中，本年1月1日に発効した日英EPAにおいては，農林水産品に係る日本側の輸入関税につきまして，日EU・EPAの範囲内とすることができました。また，RCEPにおいては，日本側の主要畜産物の関税につきまして，関税削減・撤廃品目からの除外を確保いたしました。

近年めまぐるしく変わる国際環境においても，引き続き，しっかりと国内生産を確保していけるよう畜産・酪農の体質強化を進めてまいります。

○ 畜産物の輸出への対応等

今後，我が国の畜産業を持続的に発展させていくためには，海外で高まる

ニーズを捉え、輸出を更に拡大していく必要があります。一昨年の畜産物の輸出額は532億円と過去最高となりましたが、政府は農林水産物の輸出額を2025年に2兆円、2030年に5兆円とする目標を掲げており、一層の輸出拡大が必要となっております。

農林水産省としては、本目標を達成するため、昨年12月に策定された「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」において、海外で評価される27品目（牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵・牛乳乳製品等）を輸出重点品目として設定し、品目団体・関係者が連携し、新たに組織化されたコンソーシアムに対して、海外の規制やニーズ等の情報提供や海外での販売強化に資する取組への支援を行うこととしています。

○ 和牛生産拡大・畜産経営の安定等

近年、牛肉の輸出額は毎年増加しているものの、直近の輸出額は297億円にとどまっております。こうした中で国内外の旺盛な需要に対応するためには、積極的に和牛を増頭・増産する必要があります。

農林水産省としては、

- ① 牛肉の生産基盤強化のため、繁殖雌牛に対する「増頭奨励金」の交付や公共牧場等での繁殖雌牛の導入、施設等の整備、繁殖肥育一貫経営の推進
 - ② 肉用牛の増頭・増産を支える環境整備を図るため、畜産クラスター事業の要件緩和による中小規模農家の支援、後継者のいない家族経営の経営資源を地域の担い手に円滑に継承する取組、増頭に伴う家畜排せつ物の処理のための施設の機能強化・堆肥のペレット化の推進
 - ③ 生産現場と結びついた流通改革の推進を図るため、家畜市場及び食肉処理施設の再編整備
- に取り組んでおります。

○ 生乳生産拡大・酪農経営の安定等

我が国酪農は、新たな国際環境や、高齢化や後継者不足による酪農家戸数の減少等に伴って、生乳生産量は減少傾向で推移してまいりましたが、令和元年度に4年ぶりに増加に転じ、引き続き増加傾向が続いております。都府県においても、昨年4月以降は概ね前年を上回って推移していますが、国産生乳の需要が堅調な中、北海道からの生乳移送も限界に達していることから、新たな酪肉近においては、都府県酪農の生産基盤強化と北海道酪農の持続的成長を最重要課題とし、令和12年度までに全国の生乳生産量780万トンを目指すこととしています。

具体的には、都道府県酪農の生産基盤の強化のために必要な乳用後継牛への増頭奨励金の交付、畜産クラスター事業による畜舎整備、家畜排せつ物処理施設の設置・改修等への支援等を引き続き推進してまいります。

○ 国産飼料の増産・配合飼料価格への対応等

輸入飼料への過度の依存から脱却し、飼料生産基盤に立脚した足腰の強い畜産経営を実現するため、草地の生産性向上、飼料生産作業の効率化、子実用とうもろこし等の国産濃厚飼料の生産拡大、放牧の推進や農場残さ等の未利用資源の有効活用等に対する取組を支援し、国産飼料の一層の増産と着実な利用の拡大を推進してまいります。

併せて、配合飼料価格の短期的かつ急激な上昇に対しては配合飼料価格安定制度、中長期的な高止まりに対しては経営安定対策を組み合わせ、畜産経営の安定を図ってまいります。

さらに、「農業競争力強化支援法」に基づき、良質でより低廉な配合飼料の供給に向けて、配合飼料メーカーの事業再編等を進めているところであり、これまでに5件の事業再編計画の認定が行われました。昨年4月に、事業再編

計画の認定対象に配合飼料の卸売・小売業を追加したところであり、今後さらに取組を進めてまいります。

また、近年、トラックドライバーの人手不足や高齢化が深刻化する中、今後も安定的な飼料配送を確保するため、飼料メーカー・運送業者・生産者等が集まり、「飼料流通の合理化に関する検討会」において、飼料流通の課題と解決に向けた方向性を「中間とりまとめ報告書」として公表したところです。今後は、この報告書に沿って、飼料流通の効率化・標準化の取組を進めてまいります。

○ 東日本大震災・原発事故からの復旧・復興

原発事故に関しては、安全な畜産物を供給するため、適切な飼養管理の徹底と検査体制の強化、草地除染と汚染廃棄物の処理等を関係省庁等と連携して実施するとともに、「食べて応援しよう！」のキャッチフレーズの下、被災地及び周辺地域で生産・製造されている農林水産物の積極的な消費拡大を促進しております。本年も、生産者が一日も早く営農再開を果たせるよう、引き続き取り組んでまいります。

我が国の畜産業は、農業総産出額の約4割を占める重要な産業であり、安全・安心な畜産物を消費者に安定的に供給するだけでなく、地域経済の維持・活性化、良好な景観の形成等の多面的な機能の発揮を通じ、国民生活において重要な役割を果たしております。

皆様におかれましては、昨年にも増して、畜産・酪農行政へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



ロシア・モスクワで暮らし始めるとのこと

三井物産モスクワ有限会社 食料・流通事業課

川田 健晴



<ロシア入国>

2019年1月のある土曜日、私はモスクワ・シェレメチェボ空港行きアエロフロート263便の機内にいた。

それまでロシアに縁もゆかりもなかった私がモスクワ駐在の辞令を受け取ったときは晴天の霹靂であったが、そのような場を与えてくれた会社、頑張れと送り出してくれた上司・同僚への感謝とともに日本を発った。その時点でのロシア関連の知識はせいぜいプーチン、スターリン、ソビエト、シベリア鉄道や人類初の人工衛星スプートニクぐらいであり、真冬のモスクワに向けてアエロフロートで飛び立つという決断も少し勇気のいるものだった。しかし一度搭乗してしまえば飛行機は勝手に私をモスクワまで連れて行ってくれる。飛行機はいつの間にかシベリア西部上空を飛行中で、到着予定時刻まであと2時間程度となった。さあいよいよモスクワに降り立つんだ。就労ビ

ずで外国に入国するのは生まれてから初めてだが、モスクワの空港に到着しても無事入国できるだろうか。パスポートコントロールでのやり取りは悪く行えるだろうか。

そんなことを考えていると、急に飛行機が回れ右と旋回しだした。あれよあれよという間に飛行機はその針路を北向きに、そして東向きに180度転換してしまった。一体何が起こったのだろうか。シェレメチェボ空港到着後の送迎は手配していたが、私はロシア語を全然話せないため他の空港に着陸してしまったとしたらできることは何もない。ロシアで通じる電話も持っておらず、人とのコミュニケーションも満足に取れたものではない。さあ大変なことになってきたぞ、どうしたものだろうか。悪い緊張とともに身構えていると、飛行機はもう一度旋回して西向き、すなわち元の航路に復帰した。機長のアナウンスによると、降雪のためシェレメチェボ空港が混雑しており着陸までの順番待ちをしているらしい。シェレメチェボ空港に着陸してくれるならば一安心だ。気持ちにも少し余裕が出てきて、極寒のモスクワで降雪のために空港オペレーションが回らなくなるなんて意外だな、寒い国なんだから最初から対策していてもよさそうなものなのに、というようなことにも考えが回り始めた。

さて、予想外の旋回にもかかわらず、飛行機は無事シェレメチェボ空港に降り立った。沖止めであったため空港ターミナルビルまではバスでの移動だ。確かに強い風の中、横殴りの雪が私を襲った。寒いし雪は降るし風も吹くし、冬のモスクワはなんと過酷な環境なんだろうか。これはとんでもないところに来てしまったぞ。そう思いながら私は入国手続きを終え、送迎の運転手と合流しモスクワ市内の宿に向かったのだった。

<モスクワでの新生活>

吹雪の中で始まったモスクワでの新生活だったが、その後は意外と天気が荒れることはなかった。三井物産モスクワの同僚に聞くと、私が到着した日がその冬で一番の嵐だったらしい。なるほどモスクワは内陸にあることもあ

りそれほど雪が降るということではないらしく、到着日の空港の混雑もそれが理由だったのだろう。

私の中では、ロシア（ソ連）のスーパーと言えば何もない陳列棚に長い行列というイメージがあったが、既に食事情は大いに改善しており、モスクワでは「食べるものがない」というようなことはなかった。特に驚きはマクドナルドやバーガーキング、KFCという米国系のファストフードの店舗を様々なところで目にしたことだ。米国と言えば冷戦期におけるソ連の敵国であるのだが、市民、特に若者にとって米国は憎むべき存在ではないらしい。その証拠に、街中で「NASA」のロゴマーク入りのTシャツを着た若者を目にすることも多い。米ソで宇宙開発競争を行っていた時代からは考えられない変化と言えよう。

米国系ファストフード店舗はタッチパネルで注文できるため、ロシア語が話せない私でも安心して食事ができる。家族を引き纏めるまでの私の主食はマクドナルドとバーガーキングとなり、休日となれば自宅から徒歩5分少々バーガーキング店舗まで昼食のために往復することが日常となった。とりあえずハンバーガーを食べるだけならば困らなかったが、家族の引き纏めに備えて自宅の備品の買い出しをした時には店員さんが誰も英語を話せないところにとて苦勞した。言葉が通じないなら気合と根性だと日本語とボディランゲージでコミュニケーションを取ったが、なかなか思い通りに事を進められないことはしんどいものだった。そして何よりも寒い。1月に着任しそこから新生活の準備をしていたのだが、寒さで直接的に体力を奪われてしまうため買い出しや昼食で出かけるだけでもどっと疲れが出てしまい、自宅に戻ると眠りに落ちてしまうということも日常になった。

<家族とのサンクトペテルブルク旅行>

春になり暖かくなってきた頃、家族が日本からロシアに来てくれた。私の仕事の都合で言葉も通じない国に引っ越してくれるのだから、家族にはとにかく感謝だ。家族のための生活用品を改めて整え、子供の幼稚園や妻の家族



サンクトペテルブルク・ブルコボ空港にて

用デビットカードの取得といった手続きも一つ一つこなしていくと、徐々に住めば都という格言を実感できるようになってきた。

ロシアでは日本と同様に5月上旬に連休がある。その連休を活かして家族でサンクトペテルブルク旅行に向かうことにした。サンクトペテルブルクはロシア第二の都市であり、かつてのロシア帝国時代の首都である。見どころの一つはエルミタージュ美術館であり、私は美術には詳しくはないがそこに所蔵されているレオナルド・ダ・ヴィンチ「ブノアの聖母」はぜひこの目で見てみたい作品であった。

何とか入館チケットを購入して美術館に入り、ああなんて大きな美術館なんだろう、さあ「ブノアの聖母」はどこだとなったとき「飽きた。ホテルに帰ろうよ」と娘が言った。ああ娘よ、確かに3歳の君にとって美術館は全然楽しくないだろう。しかし折角ここまで来たんだ、ぐるっと一回りして「ブノアの聖母」は見させておくれ。

飽きた、疲れた、帰りたいという娘をなだめつつ一回りし、お目当ての「ブ

ノアの聖母」を見てエルミタージュを後にした。さあ次はどこに行こうか、サントペテルブルクは運河の街で、船で運河クルーズとしゃれこもうか。そうこうしているうちに急に気温が下がってきて、なんと雪が降ってきた。5月の連休で雪に見舞われるとは思っていなかった。運河を走る船も悪天候に伴いもう走らないという。外にいても寒いので、サントペテルブルクの街をまだまだ楽しめていないが、おとなしくホテルに帰るとするか……。

(終)

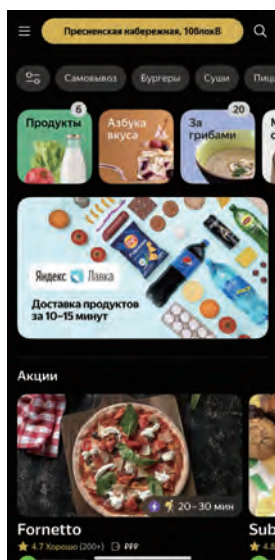
<ご挨拶>

皆様、明けましておめでとうございます。

早いもので私がロシア・モスクワでの業務を始めてからほぼ2年が経ちました。この場をお借りして言葉も通じない不慣れた土地に赴任した際の苦労話などを紹介させていただきましたが、今では（相変わらずロシア語はなかなか上達できていませんが）モスクワで元気に過ごしております。

2020年は新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、モスクワでも3月から6月まで外出規制が敷かれ、ほぼ自宅から出られない期間となりました。夏には一旦落ち着いたものの、秋以降は第二波が到来するなど、新型コロナウイルスとの戦いはまだまだ難しい時期が続くかと存じます。

もともとロシアでは冬が寒く外出したくないためかウーバーイーツのようなフードデリバリーサービスが日本よりも一般的でしたが、新型コロナウイルス対策で外出制限が敷かれて以降、その利用者数が大きく伸び、私も外出制限をきっかけとして「ヤンデックス・イエダ」というアプリを使



ヤンデックス・イエダのスクリーンショット。提携スーパーマーケットの商品や、レストランの食事をスマートフォン一つでデリバリーできる。

い始めるようになりました。同アプリでは、レストランからのデリバリーに加えて提携スーパーマーケットからのデリバリーも可能となっており、外出制限下での食事や買い物は大きく助かっております。また、スーパーマーケット各社もそれぞれ独自のデリバリーサービスを拡充しており、新型コロナウイルスによる業態の変化がここロシアでも起こっております。

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた人類の歩みは留まることはなく、皆様におかれましては2021年には健康第一に益々活躍なさるものと確信しております。

本年が皆様にとり素晴らしい1年となることを心より祈念いたしております。よろしくお願いいたします。

コロナ渦中のニューヨーク

ITOCHU International Inc. Food Division

山口 (TJ) 大河



皆様、新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

2020年は新型コロナウイルスの猛威を受け、世界中が混乱の最中にあった1年だったと記憶しております。2021年に入ってから依然としてウイルスの力は衰えず、第二波・第三波と引き続き人々の生活を脅かしている状況です。実際に私の赴任時期も当初4月を予定していたものの、在日米国大使館によるビザ発給の一時停止等を理由に7月末まで遅れる等、予期せぬ事態が起こった1年でした。一方で、これまでどの企業も手探りであった「在宅勤務」という新しい働き方が浸透し、リモートワークやバーバーレスといった新しい考え方や気づきが発見できた1年でもあったかと思います。私が現在勤務している ITOCHU International Inc（伊藤忠ニューヨークオフィス）で

は、契約書の電子サイン化に加え、ZOOMを駆使した日々のデイリーミーティング等、リモートワークに順応した働き方を行っております。更には、時々開催される業務後のハッピーアワーパーティでは、ZOOM越しに何人かでお酒を飲みながらお話しをしたり、会社主催のZOOMによるマジックショー等も催され、社員が一体となりリモートで楽しい時間を過ごしております。

今回このように皆様に駐在地についてお話できる機会をいただいたので、先ずは前段にこの5カ月の間でニューヨークにおいて気づいた事・知らなかった事をお話しさせていただきます。続いて後段では、コロナウイルス渦中におけるニューヨークでの暮らしについてお話させていただきます。

■気づいた事・知らなかった事

・街が汚い、臭い、治安が悪い

私は現在マンハッタンの中心部、ミッドタウンに住んでおり同様にオフィスもミッドタウンに位置しております。赴任当初ニューヨークのマンハッタンといえば、高層ビルが建ち並び、オシャレなお店が連立していて、誰しもが羨むような街中を想像していました。私のイメージは日本の銀座を一回りも二回りも進化させたような街並みでした。しかしながら、現実とは意外と汚く、そこかしこにゴミが散乱しており、舗装されていない道路も多く、見栄えはとても良いとは言えません。更にマンハッタンはホームレスの方が非常に多いです。特にこの新型コロナウイルスの影響で職を失った方たちが家を失い、一時的にホームレスになっている方もいることで、ホームレス人口も急増しているそうです。また、喫煙に対する規制が日本ほど厳し



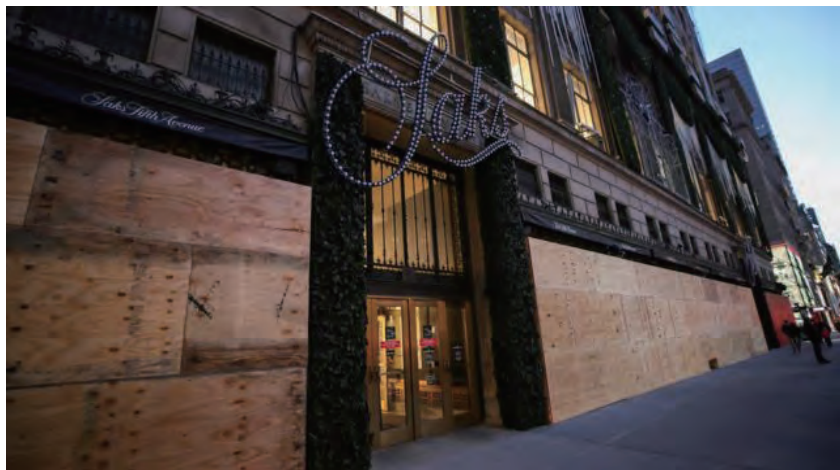


くなく、路上喫煙者が多く、更に至る所に排気口があり、普段街中を歩いていてもあまりの臭いに顔を歪めてしまう瞬間が多々あります。また、不況のあおりを受けマンハッタンは治安が悪化傾向にあります。地下鉄の線路に人を突き落としたり、女性を暴行したり等連日暗いニュースが報道されています。銃を使った事件も急増しており、今年の4月以降の銃を使

った殺人事件件数は昨年対比51%増加しており、発砲事件件数は140%増加している状況です。これは、新型コロナウイルス危機による数カ月に渡る自宅待機だったり、白人警官による黒人男性の発砲事件等、様々な要因があるといわれております。「世界一高価な通り」と呼ばれるニューヨーク5番街を擁するニューヨーク・マンハッタンという街にも、荒廃した現実が広がっていることを目の当たりにしました。

・国民の政治に対する関心が高い

11月3日に大統領選挙が行われました。コロナ禍の中での赴任となったものの、実は大統領選挙を現場で体感することは楽しいイベントの一つでした。選挙前からニューヨーク州のいたるところでデモが行われ会社からも注意喚起を度々受けておりました。しかも、たった1週間の間にある一定の地域だけで数十回も行われるとのこと。たまたま実際のデモの現場を目にしたとき、老若男女関係なく思い思いを血眼になって訴えかけており、非常に印象的でした。また、選挙前日及び当日、殆どの百貨店やアパレルショップ・スーパーはベニヤ板でガラスを覆い、街中は摩訶不思議な光景で広がってました。デモにおける被害額に比べたら店をベニヤ板で覆う作業量の方が圧倒



的に安いのでしょうか……更に、米大統領選討論会では、視聴者数が8,090万人にも及んだと発表があり、1億人弱の国民が注目しておりました。このような日本人には無いアメリカ国民の選挙に対する熱意は、民主党・共和党それぞれ政策や方針・考え方がガラッと異なり、多様な人種や背景を持ったアメリカ国民としては自分事として考えずにはいられないからなのでしょう。

・とにかくテキトウ

赴任直後に早速洗礼を受けました。赴任の翌日に早速アメリカオフィスの人事より電話があり、どうやら私の入国処理に不備があったらしく、現在私は「不法滞在者」となっているとのこと。CBP (Customs and Border Protection) に電話で状況を確認すると、担当者が誤った情報を入力してしまったらしく再度空港まで来てほしいとのこと。電話を置き暫く経った後、人事からメールがあり入国処理が正式に承認されたとの連絡あり。疑問に思い再度CBPに電話すると、こっちで手続きして確認がとれたから、来てもらう必要がなくなっただけらしい。であれば一報してくれ、等一連のやり取りに違和感を覚えつつもその場はなんとか解決しました。更に、頼んだ家具が予定通りに来なかったり、来たと思ったら2つ届いたり（現在私の家に同じ大きさ

同じ色の絨毯が2つあります)。その他にもアポを取っていた電気会社が時間通りに来なく、電話したら忘れていたという始末。このように杜撰な事務対応が多々あり、初めの生活のセットアップにはなかなか苦労しました。同時に日本人の細やかで正確なサービスを再認識することもできました。一方で、細かい所はテキトウにあしらう反面で、非常に温かく人情味溢れる側面も多々あり、総合して私は好感を持てております。ミスコミュニケーションは私の英語力の欠如から起こってしまっていることも否めないのもので……

■コロナ禍におけるニューヨーク・マンハッタンの暮らしについて

赴任日に不動産の関係者にニューアーク空港まで迎えに来ていただき、初めてマンハッタンという街を目の当たりにした時の感想は「人がいない」でした。2019年から赴任していた同僚の話によると、コロナ前の時と比較して約40%ほどしか街中を歩いていないとのこと。赴任当初の最初の驚きでした。現在アメリカ全土におけるコロナ感染状況については、2020年12月初め現在で感染者数の合計が1,420万人、死者数が27.6万人にのぼり、引き続き悪化の一途を辿っております。ニューヨーク州に着目すると、下記グラフの通り、10月以降感染者数が増幅傾向にあり、感染者数の合計が32.6万人、死者数が2.4万人となっております。この再拡大に対処すべく、一時再開したレストランの店内営業も再度店外のみ限定したり、10時以降の営業は禁止したり感染防止対策が施されている状況です。

3月・4月頃のニューヨークは1日に1,000人を超える死者を出した時期も



あり、アメリカ国民のコロナウイルスに対する危機感が尋常ではないと気づきました。ある日私がスーパーで食材を買おうと列に並んでいると、前の方から「もっと後ろに下がってくれ」と注意されたこともあります。完全に私に非があるのですが、日本では恐らくあまり見られない光景で、アメリカ国民の危機意識に感銘を受けました。

更に驚いたのは、街中のレストランの営業状況についてです。赴任前に前任の方からレストランは店内の飲食は禁止のため、現在は店外の飲食しかやっていないと聞かされており、「店外の飲食」に疑問を持ったのを覚えております。各お店にテラス席があるわけでもないのにどうやって店外で営業するのだろうと考えてました。しかし、本当に店外で営業していたのです。下記写真の通り、ほぼ道路に浸食して、各店がここぞとばかりにテーブルや席を店外に設置し、雨が降っても問題ないようにテントで覆い営業しているのです。ここまですると店外も店内も大差ないんじゃないかと疑問に思っていますが、コロナ禍においても営業していくために各お店の工夫が感じられました。



後々調べてみると、道路交通法との絡みもあるため、お店側が市に対して申請書を提出し受理された場合に限り、決められた範囲においてテラス席を設置できるとのことです。更に8月には収入が大きく落ち込んでいる飲食店を支援するため、一部の道路を通行止めにして、飲食店がテラス席を設けて営業できるエリアを市内47カ所に倍増する方針を明らかにしております。このように行政が一丸となって飲食店を補助する仕組みができております。

加えて、マンシヨンの空室状況に驚きました。新型コロナウイルスが蔓延している状況下で、人口密度の高いマンハッタンから感染リスクを排除すべく郊外へ引っ越しをする人が多く、マンシヨンの空き部屋が非常に多くなってきております。CNBCの報道によれば、8月時点で新規賃貸契約数が昨年対比23%減少しており、更に空室数も13万件と昨年から約2倍に増加しており、当該報道機関が調査してから14年間で過去最多の空室数とのこと。私がマンシヨンを契約する際に満室であったマンシヨンは殆どなく、どこも一定数の空室があり比較的スムーズに契約することができたことを記憶しております。マンシヨンの中には、ある一定の年数（だいたい2年）の契約してもらうことを前提に家賃無料の月を1カ月提供する「フリーレント (Free Rent)」を付与してくるマンシヨンもあったりして、マンハッタンの不動産業界の深刻さがひしひしと伝わってきました。

赴任して約5カ月ですが、既に様々な経験をさせていただいており、簡単ではございますが、印象に残った点をお話しさせていただきました。コロナ禍の中で、原則出張禁止されていたり、ブロードウェイミュージカルが一切クローズだったり、年末のカウントダウンがバーチャル開催だったり、果たして思い描いていたニューヨーク駐在“らしい”生活ができているのか疑問に思うこともあります。しかし、前述した通りこのような状況下でのニューヨークの暮らしを体験することも貴重な経験だと思い、前向きにこの期間を楽しみたいと思います。また、目まぐるしく変わる昨今の状況下において、ニューヨークという世界を代表する都市がどのような対応を行使していくのかも、一人の市民としてワクワクしながら生活していきたいと思います。ま

だまだ大変な状況は続くかと思いますが、くれぐれもお体をご自愛いただくとともに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

米国シカゴあれこれ

Toyota Tsusho America, Inc.

谷 村 丈



飼料輸出入協議会関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。米国イリノイ州シカゴより謹んで新年のお慶びを申し上げます。海外実習生として2020年6月半ばに当地へ赴任してまいりました。皆様もご存知の通り、当方が赴任した時期はコロナウイルスが全世界で急拡大している時期でした。そのため、当地到着後2週間の隔離、そして現在まで在宅勤務を継続しております。

■アメリカ第3の大都市

シカゴと言えば何を思い浮かべますか？ 実はシカゴがアメリカのどこに位置しているか知らないということも多いのではないのでしょうか？ 聞いたことがあるけれどもあまりよく知られていないシカゴについて少しご紹介させていただきますと存じます。

シカゴは米国の中央より北東に位置するイリノイ州にあり、ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ全米第3位の都市です。人口は大阪市約260万人に対して、シカゴ市約290万人となり大阪市とシカゴ市の人口はほぼ同じです。しかし面積は大阪市約210km²、シカゴ約590km²であり、人口密度は大阪市：124、シカゴ：49（単位：百人／km²）と、いかにシカゴがゆったりとしているかがお分かりいただけるかと思います。アメリカのほぼ中央に位置するという地理上



の利点を活かし、古くより交通の要所・物流の要所として発展してきました。シカゴ市の北西にあるオヘア国際空港はハブ空港として利用され、世界一忙しい空港と言われています。

また、シカゴ商品取引所、シカゴ・マーカントイル取引所などシカゴで取引される農作物を代表とする様々な商品の値段は世界の経済に大きな影響力を持っています。そして、シカゴは高層ビルが立ち並ぶ中に大きな公園や川、湖等の自然も多くあります。種類豊富なお店やレストランに加え、エンタメ産業も盛んでメジャーリーグ・ベースボールではシカゴカブス、NBAではシカゴブルズのような有名プロスポーツチームもあります。非常にバランスの取れた都市であり、目的に合わせて色々な楽しみ方が出来るのがシカゴの特徴です。

■豊かな四季、冬は極寒！

シカゴには四季があります。春は短く、すぐに夏が来ます。春から秋にかけては比較的過ごしやすい時期になります。しかしシカゴの冬はとにかく寒く、「Windy City」とも言われるほど風が強く吹く街として有名です。気温

がマイナス20度C以下になることもあり、風が強い日は針で刺されるような寒さになります。もし観光でシカゴにいらっしゃる場合は冬のシーズンは避けたほうが良さそうです。

■ディープディッシュピザ

シカゴで有名な料理と言えば「シカゴスタイルピザ」と称されるディープディッシュピザが挙げられます。今回はディープディッシュピザ発祥のレストランと言われる『PIZZALA UNO』をご紹介します。パンの割合が普通のピザに比べるとかなり多く、当方がオーダーしたお店のお勧め『Numero Uno』にはたっぷりのトマトベースソースにチーズやお肉（サラミ、ソーセージ、ハム）、きのこ、ピーマン、たまねぎ等の具がぎっしり詰まっています。相当なボリュームがあるためアメリカ人でも一切れでおなか一杯になるそうです。現在は店内での飲食が禁止されているため、車でお店の前まで行き、車内で受渡を行いました。

一人で食べる場合にはインディビジュアル（\$9.59）というサイズ（直径12センチくらい）もあります。数人で訪れ、違う味をシェアするのもいいかもしれません。ただしオーダーをしてから出来上がるまでに30～40分ほど時間がかかるので、お食事の際には事前にオーダーをしておくスムーズです。





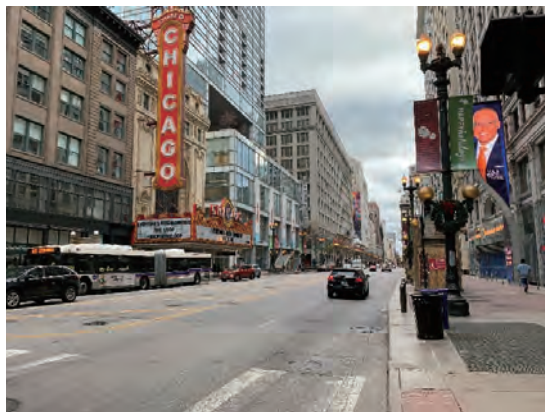
■日本人にとって住みやすい環境

シカゴ市街から車で約40分、シカゴオヘア空港からは車で約15分のところに日本人が多く住む地域「アーリントンハイツ」という街があります。日本食品専門スーパーがあり、お刺身や納豆、調味料などの食料品から本、炊飯器、日用品などが取り揃えられています。周辺地域には日本人経営の美容院、日本人オーナーが丹念に仕込むラーメン屋から最近では「くら寿司」までオープンしました。また、スポーツチームも多数あり、当方も現地チームに所属し毎週末サッカーをしています。



■コロナ渦×大統領選挙下におけるシカゴの様子

12月現在、イリノイ州政府は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、イリノイ州全域において小売業、バー、レストラン、製造業、集会等を対象に制限措置（ティア3）を導入しています。これは非常に厳格な措置でありロックダウンではありませんが、ほとんどの場合で完全停止もしくは非常に限定的な範囲での営業及び活動許可となっています。そのため、ホリディシーズンにおける週末にも関わらずシカゴ中心街は閑散としています。しかし、BLM問題に対する抗議活動や史上類に見ない激戦となった大統領選挙下においては人々が一挙に集合する様子がシカゴを始め米国全土で見受けられまし



た。個人の思想や個人の権利を主張する国民性を強く感じました。その中でも、トランプタワーの目の前で「YOU' RE FIRED」とプラカードが掲げられていたことが、両陣営間の溝の深さを表しているようで非常に印象的でした。

■業務風景

コロナ渦において数多くの規制や制限に加え、赴任以来在宅勤務を継続しておりますが、その中でも可能な限り現場を訪れるよう心掛けています。農家の収穫作業、エレベーターでのバージや本船への積み替え等の米国内ロジスティックスの現場に実際に立ち会うことが出来ました。日本国内ではなかなか感じることが出来ない穀物バリエーチェ



ーンのスケールの大きさとその迫力を感じながら日々の業務に取り組むことが出来ています。

■最後に

2020年は誰もが予測していなかったほどの環境変化がめまぐるしく、かつてない変化に柔軟に対



応し続けることが求められる1年でした。米国はバイデン新大統領の元で新たな船出となることでほぼ確定でしょう。国内人種問題、依然予断を許さないコロナ対策、対中政策等、4年間のトランプ政権下にて大きく分断された米国をこれからどのように舵取りをしていくのか、新大統領の手腕に注目が集まります。末筆になりますが、飼料輸出入協議会及び会員各社の皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

異郷の地・カイロから

丸紅カイロ店

本多 俊孝



皆さま、新年あけましておめでとうございます！

エジプトはカイロより飼料輸出入協議会関係の皆様に謹んで新年のお祝いを申し上げます。

この年末年始はCOVID19の影響で従来とは異なる正月をお迎えの方も多いと思いますが、今日は2017年春に当地赴任した私より異郷の地・カイロに来



ナイル川とカイロの街並み 住宅街

てみて分かったことや日本と違う点…に関して以下紹介させていただきます。

？エジプトの元旦はクリスマス飾りで華やか？

エジプトの元旦＝西暦の1月1日は単なる1日お休みの休日に過ぎず、日本の元旦・正月三賀日のような華やかな雰囲気は一切ございません。欧米でも同様かと思えますし、中国やベトナム等太陰暦を使用していた国では旧正月を盛大に祝いますね。国民の9割前後がイスラム教（大半がスンニ派）と言われるエジプトでは、「イスラム暦の正月（今年は8月10日）」が彼らの正月になります。という訳で、エジプトの1月1日は閑散とした元旦か？と申しますと意外とそうではなく、街中はクリスマスの飾りつけやクリスマスソングで結構華やかな雰囲気も醸し出しております…。もう元旦なのだからクリスマスの飾りつけは仕舞えば良いのに…と思うところですが、これが違うのです。エジプトには国民の1割前後と言われる人が実はキリスト教でして、欧米キリスト教でのカソリック・カトリックという呼称の感覚で、彼らは「コプト教徒（Coptic Christian）」と呼ばれているのですが、この原始キリスト教ともいわれるコプト教のクリスマスが実は毎年1月7日です。エジプトでは休日にもなっています。何故に1月7日がクリスマスなのか？と申しま



華やかなクリスマスの飾りつけ

すと、コプト教徒は昔ながらのユリウス暦に基づくクリスマス＝1月7日を採用している一方、日本も含めた欧米各国は1500年代のローマ教皇が命じたユリウス暦（旧暦）を改めた現在の太陽暦（新暦）であるグレゴリオ暦を元にクリスマス＝12月24日と定めたことに起因するそうです。暦の改定で13日のずれが生じたという訳です。ですからエジプトでは12月23、4日の我々から見たら普通のクリスマスがそのまま年明けまで続く形となります。

キリスト教は設立当初はローマ帝国による数々の弾圧にあいましたが、4世紀に公認され、その後ローマ帝国で国教化されることで繁栄を迎えた多くの歴史書では書かれています。この弾圧を受けていた時代、実はここエジプトがキリスト教の中心地だったそうです。ルクソールにある王家の谷には、実はこの紀元1～3世紀の頃のキリスト教徒がファラオの墓の中で暮らしていた（ローマ帝国の弾圧から避けるため、カイロはおろか更に南のルクソールまで逃げて来ていた訳です）証として数々の落書きや十字架を模した跡が

あり、宗教弾圧の厳しさを今に伝えています。ちなみに、世界初の修道院というのは実はエジプトにあります。

一説にはイエスキリストは幼少時にエルサレムでの迫害を避けるべくエジプトで MARIA 様と暮らしていたと言われており、その遥か以前にはユダヤ教・モーゼの出エジプト記もまさにエジプトを脱出し、紅海を渡ってシナイ半島にあるシナイ山で神の啓示を受けた（十戒）との話にて、エジプトはキリスト教・ユダヤ教と縁のある場所とも言えます。4, 5 世紀の宗教論争でローマ教団に負け、その後はキリスト教の異端として扱われて今日に至っていますが、当地のキリスト教徒は自分たちこそ正統派・元来のキリスト教を伝える主流だ…と自負を抱いています。

平時はイスラム教徒とコプト教徒は共存していますが、イスラム過激派等による襲撃事件（襲われるのは決まってコプト教会です）もあり、その意味では Minority としての厳しさがあるのも事実です。

なお、笑い話ですが赴任前「エジプトはイスラム教の国なので、豚肉は無い…」と聞いていましたが、コプト教徒（≒キリスト教徒）は豚肉を食べても OK ですので、カイロ市内にはコプト教徒が運営する豚肉販売店も数は少ない（1, 2 店舗）ですがございまして、私含めた多くの在カイロ日本人にとっては貴重な存在となっております。

？エジプトといえばピラミッド・スフィンクスが有名ですが、それ以外は？

エジプトと言えば、5000 年近い悠久の歴史を持つピラミッドやスフィンクス…をイメージする方が多いと思うのですが、何千年も前の遺跡を模した物「以外」で エジプトの土産・特徴ある文物が意外と乏しい…というのに気づきます。今や宗教はイスラム教がメインですし、庶民の食事も所謂中東料理の影響が多く、エジプト料理…と敢えて言えるのは数少ない…というのが実情。これは何で？と考えますに、実はエジプトの厳しい歴史が関係しているか？と思えます。

世界遺産でもあるカイロの 3 大ピラミッド（カイロ市内から車で 20 分ほど

の距離・郊外にあります)は今から4800年ほど前のクフ王～孫3代の建造物(スフィンクスはもっと古いとの話も)。エジプト最後の女王として有名なクレオパトラは実はエジプト人王朝ではなく、紀元前3世紀にアレキサンダー大王がエジプトを支配、その後彼は更に東方遠征をして亡くなるのですが、エジプトの留守を大王から任されたプトレマイオス将軍がアレキサンダー大王の死を知って「だったら俺が王様になれる」と作ったプトレマイオス王朝(=今でいうギリシア人王朝)の最後の女王です。そして現在のエジプトは1952年にナセル大統領の軍の一派が中心となってクーデターを起こして建国した国なのですが、実はこの紀元前3世紀～1952年までの2000年以上の間、エジプトは周辺国の植民地として延々と生き永らえてきた歴史があるのです(プトレマイオス王朝→ローマ帝国→イスラム教各王朝(最後はオスマントルコ)→英国保護領)。

ここ2、3世紀の古い絵画・写真等から見えるエジプトはまさしくトルコ風です(庶民のコーヒーもトルココーヒーが未だ主流)、1800年代に保護領下でのエジプト王が近代化を目指すも、宗主国英国に妨害される…という憂き目にも合っています【エジプトは世界有数のフルーツ産地でもあるのですが(ナイル川の賜物です)、ジュース加工工場が出来たのは20世紀後半=戦後の話で、それまでは原料としてフルーツを欧州やサウジに輸出し、加工品であるジュースを輸入させられる／買わされる…という植民地経済の中にいたことが、現在でも近代化を遅らせている一因です】。ピラミッドの時代の文字はヒエログリフ、宗教は太陽神ラーを頂点とする多神教(日本の八百万の神々の発想に似ています)でしたが、これも今では文字の意味は判明しましたが、伝承されていないために発音は分からず^(※)、宗教はイスラム教・コプト教という一神教に代わってしまいました。

(※) ツタンカーメン王という呼び名はヒエログリフをアルファベットに直した場合の呼び名であり、3300年前当時の元来の呼び名は誰も分かりません。

という訳で、エジプト土産の殆どは紀元前数世紀以前の遺跡をモチーフにしたものが大半…というのが実情です(しかし、5000～2300年前はエジプト

35王朝があった訳ですが、その長さは3000年弱の長きに渡っており、弥生時代から現在までの日本の歴史よりも古い…という事実はやはりエジプトは悠久の歴史を持つ国！と感心させられます）。

？エジプト人のソウルフードを支える日本原産の米？

現代のエジプトは中東色が非常に強く、エジプトの独自色を探すのは難しい…という話をしましたが、食事に関してもどれがエジプトオリジナルなのか、他地域の中東料理（菓子類含め）との区別はなかなか難しいのが実態ですが、「これがエジプトのソウルフードだ！」と私が思える食材の一つが“コシャリ”と称する 細切れパスタや豆との“混ぜご飯…”という食べ物です。

主材料は炊飯した米にレンズ豆、マカロニ（1cm程度に細切れしたもの）、トマトソース、タマネギ等を混ぜた「どんぶり飯」ですが、これにニンニクたっぷりのソース等、お店自慢の味付けを加えて食べます。カイロへの本邦からの訪問者には必ずと言ってよいほど食べてもらいますが、私含めて「評判は上々」です。最近ではCOVID19の影響で市中店舗での食事は遠慮しておりますので、食べたい時はケータリングです。

エジプト人でコシャリを知らない者はいませんし、価格的にもお安く（市中では1杯



コシャリ

LE15前後≒100円前後)庶民の手軽な食べ物です。味付けは全体的にやや辛目が多く、灼熱の地で食べる食材としては米・パスタで豊富に炭水化物を取り、そこに豆やトマト・ニンニクソースで栄養分を補う…という昔のバランス栄養食でしょうか(ちなみにカロリー的には1杯で900kcal超=日本の牛丼を遥かに超える高カロリー食にてDiet中の方はご注意ください)。

さて、このコシヤリの主原料はコメなのですが、実はエジプトで流通している米は約100年前の大正時代に日本人が持ち込んだ日本の米が広まったもの…を知っている人は、エジプトでも日本でも残念ながら少ないですが、れっきとした事実です。この種籾を真面目に100年間、エジプトの人々はナイルデルタで育てて味を守ってきました。海外のお米は、炊飯直後は美味しく食べられても、一旦冷えた後の米は美味しくない…ものが多いのですが、エジプトのJapanica米は冷えた後、レンジでチンして食べても日本同様の味がすると我が家では皆言っております。

？インシアラー（神の思し召しのままに）と聞いたらご注意を？

エジプトがイスラム教中心の国となって1300年以上が経ち、宗教的側面からと思われますが、アフリカの国というより中東の国という感覚が強いエジプト人ですが(何せ正式な国名はエジプト・アラブ共和国です)、毎日5回のお祈り前にモスクから響き渡るお祈りの案内(アザーン)や、自分が決して裕福でなくとも、より貧しい人への施しを意識する人が大半で相互互助の風習がある…等イスラム教の良い部分を感じるのもエジプトです。湾岸諸国と異なり、金の生る石油が出ない一方で人口が多いエジプトは未だ発展途上国といえますが、貧しい中でも「笑顔を絶やさない」人懐っこく優しい国民性といえると思います。

イスラム教といって有名な言葉は「インシアラー(全ては神の思し召しのままに)」という言葉です。翻って、自分自身では分からない時などにも使いますが、親切で人懐っこいエジプト人が、仕事の場面でこの言葉を使う時は要注意! 要は、自分では予測出来ない不測の事態発生時に自分では悪いと

は思うけど…と契約不履行の言い訳として使う場合が非常に多く（エジプトは中東域内でもこの傾向が強いとも言われています）、この言葉を商談で聞いてビクッとするようになればエジプト通のビジネスマンと言えるかもしれません。



以上、徒然に書いてきましたが、最後にエジプト人の対日感情として、大変有難いことにエジプトは基本的に大の親日国だとお伝えしたいと思います。何故か街中で「中国人？」と聞かれて「私は日本人だよ」と答えると握手と共に一緒に写真を撮ってくれ…と言われること数知れず…。これはエジプト社会に流通している超・優秀な日本の工業製品の品質に因るものが多いとは思いますが、エジプトを訪れる日本人の真面目さ・優しさを知っているから…という面もあると思います。

笑い話ですが、観光地に行くと我々アジア人は大体「ニーハオ」と呼びかけられます。最近は中国人の観光客が多いから…と思うのですが、それも一つですが、実は昔はアジアからの観光客は日本人が多く、「こんにちは」「社長！」「山本山」と呼び掛けていたそうです。しかし、近年増えた中国人・韓国人観光客に日本語で呼びかけると怒られたり叩かれたりする。それで、韓国語で話かけると今度は中国人客から怒鳴られる。訳わからずに？中国語で話しかけると何故か誰も怒らない（＝日本人だけは中国語でも韓国語でも平然として怒ることは一切ない）…という訳で、誰も怒らない言葉として最近では「ニーハオ」を使う…という嘘のような本当の話を多くの日本語・英語ツアーガイドから聞きます。こうした約束守る優しい国民＝日本人ということを含めて庶民感覚で抱いてくれているのがエジプトだと思います。空港での手荷物検査等では、日本のパスポートを見せると大体がスルーパス（これはこれで行政上は問題かもしれませんが（笑））、日本人への信頼の高さを実感します。

COVID19の特効薬が開発されるまでの間は、移動も含めて不自由な生活が世界中で暫く続くと思いますが、特効薬開発後には、是非とも皆様にエジブ

トに来ていただき、こうしたエジプトあるある…を実感していただければと思います。

それでは今年一年も、よろしくお願いいたします。

“Fine Country” シンガポール！

三菱商事(株)／Agrex Asia Pte. Ltd. 出向

村中 優二郎



飼料輸出入協議会会員並びに関係者の皆様、新年快乐！新年明けましておめでとうございます。シンガポールより謹んで新年のお慶び申し上げます。

私がシンガポールに着任してから早いもので1年9カ月が経過しようと



コロナ禍で宿泊客のいないマリーナベイサンズ

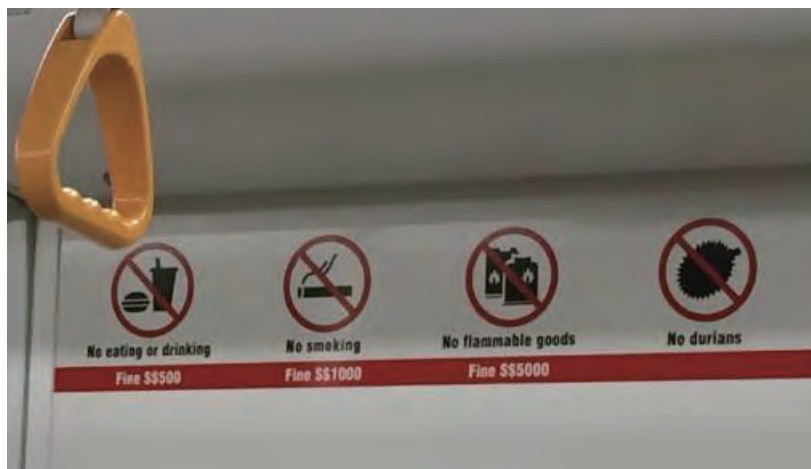
しているところです。通常であればシンガポールを拠点として、東南アジア域内を出張することが多いのですが、昨年はコロナ禍で各国での移動制限や外出制限が発令されたことで、シンガポール国外に出ることが叶わず、「こんな小さな島に閉じ込められるのか。」と正直息苦しくなる気持ちになるときもありました。一方で政府による徹底した管理体制の下、シンガポール国内における足元のコロナウイルス感染者数は抑えられており、当初は「そこまでやるか」と感じたものの、やってみると逆に守られているという安心感を感じるまでに至りました。そんな中、甚だ僭越ではございますが、皆様に向けてこの場をお借りしてシンガポールについてご紹介できればと存じます。

＜徹底した管理体制＞

マレー半島の南端に位置するその地理的優位性から、1965年の独立以降、シンガポールはアジアにおける貿易・金融・交通のハブとして、急速な経済発展を遂げております。人口約600万人の小さな国の中で、初代首相リー・クアンユー氏が一党独裁の協力なリーダーシップを発揮し、1. 積極的な外資誘致、2. 政府系企業の設立、3. 徹底した実力主義によるエリート教育の3つを主たる政策を徹底して実行したことにより、1980年から2010年までの平均GDP成長率は7%以上と、安定した成長を遂げました。私が暮らしているマリーナエリアからも常時、商船が多数停泊しているのを確認でき、シンガポールが貿易上重要な拠点となっていることを日々生活の中で目の当たりにしています。



多数の商船



地下鉄内にある罰金対象項目

このように経済が安定したことやそれと共に治安が良くなったことで、ビジネスマンや観光客など大勢の人々を誘致できるようになり、いつしかシンガポールは“よい”（= fine）国であると世界から認知されるようになりました。一方で、「治安の良い」「きれい」というイメージとは裏腹にシンガポールは“罰金”（= fine）が多い国でもあります。ポイ捨てをしたり、ガムを噛んだり（保持すること自体NG）、電車やバスなどの公共交通機関内で飲食をすると罰金を科されます。（南国ならではのですが、電車の中にドリアンを持ち込むことも強烈な匂いを放ち、周囲に迷惑という観点で罰金の対象になります。）コロナ関連の対応においても昨年4月にサーキットブレイカー（=都市封鎖）を行って以降、外出する際にマスクを着用しない場合、300ドルの罰金を科す、5人以上のグループで外食にでかけたり、自宅外の場所で集まっていた場合には72時間以内にVISA剥奪の上、国外退去となる等、シンガポール政府の徹底した管理体制が見てとれました。結果として、今では一日のコロナウイルス感染者数が1人以下という日が連続しており、安心して暮らせております。Fine cityを作るためには、Fineを科す等ときに鞭を打たねばならぬ。ということなのかもしれません。

＜ダイバーシティに富んだ町＞

前段で、いかに政府による管理が厳しいかという点を紹介しましたので何となく締め付けがきつく、生活しにくそうという印象を持たれた方もいるかもしれませんが、鞭ばかりではありません。シンガポールは我々のような駐在員（外国人）にとって暮らしやすい環境であり、実際に当社でも様々な国籍や人種のスタッフが働いています。

長年にわたって商業の中継地であったことから、シンガポールで暮らす人々は様々な民族的・宗教的背景をもっており、外国人や外国文化に対して寛容であることが暮らしやすい理由として挙げられます。シンガポール国民の民族構成は、中華系がおよそ74％、マレー系が13％、インド系が9％、その他4％であり、人口の約3割が外国人です。宗教も多様で、仏教やキリスト教、イスラム教、中国に起源を持つ道教、ヒンドゥー教など様々な信仰があり、それらを尊重するために宗教ごとに祝日や祭日が設けられています。食べ物についても中華系の料理は勿論、日本食や洋食、東南アジア各国の料理や本格的なインドカレーなど様々な人種や生活感に合ったものに気軽に楽しむことができます。

＜プラナカン文化＞

多様性のある一方、シンガポール（マレー）独自の文化としてプラナカン文化があります。先住民のマレー人と、14世紀以降に移り住んだ中国人の子孫を「プラナカン」と言い、豊かな商人が多かったプラナカンがマレーと中国、ヨーロッパの文化をミックスさせた独自の生活スタイルを築き上げたと言われています。プラナカン文化の中でも有名なのは、明るいパステルカラーとネオゴシック様式やバロック様式などのプラナカン建築です。特にカトン地区にあるプラナカン住宅は有名で、日本のガイドブックなどにも掲載されています。

つらつらと取り留めのない話になってしまいましたが、コロナ禍で海外出



カトン地区にあるブラナカン建築

張などの機会が限定される中、本稿が少しでもシンガポールの雰囲気を感じていただける内容となれば幸甚に存じます。

<最後に>

さて、昨年は世界中が前代未聞のコロナショックに見舞われ、大変な1年となりました。当社としてはこれまでと変わらず、東南アジアにおける飼料畜産産業を含めた食糧の安定供給に貢献できるよう、日々尽力していく所存です。

日本の皆様におかれましては、寒さも厳しくなる中でコロナ感染者数も増加しており、予断を許さない状況が続くかと存じますが、どうかお体にはご自愛くださいませ。

末筆ではございますが、飼料輸出入協議会及び会員各社の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

コロナ騒動下の上海から

東食貿易（上海）有限公司 総経理

長塩 政明



飼料輸出入協議会会員，並びに関係者の皆様，あけましておめでとうございます。

中国上海より心より新年をお慶び申し上げます。

月並みに昨年を振り返りますと，春節休み開始が1月24日，それとほぼ同時にコロナ騒動が勃発（武漢封鎖が1月23日），日々締め付けが厳しくなる中で，感染防止措置としての麻雀荘への立入捜査や，マスク着けずにランニングしていた外国人の本国強制送還などのニュースに驚愕し，街から人影が消え，春節休みは2月9日まで公式延長（当初は1月30日まで）となりました。

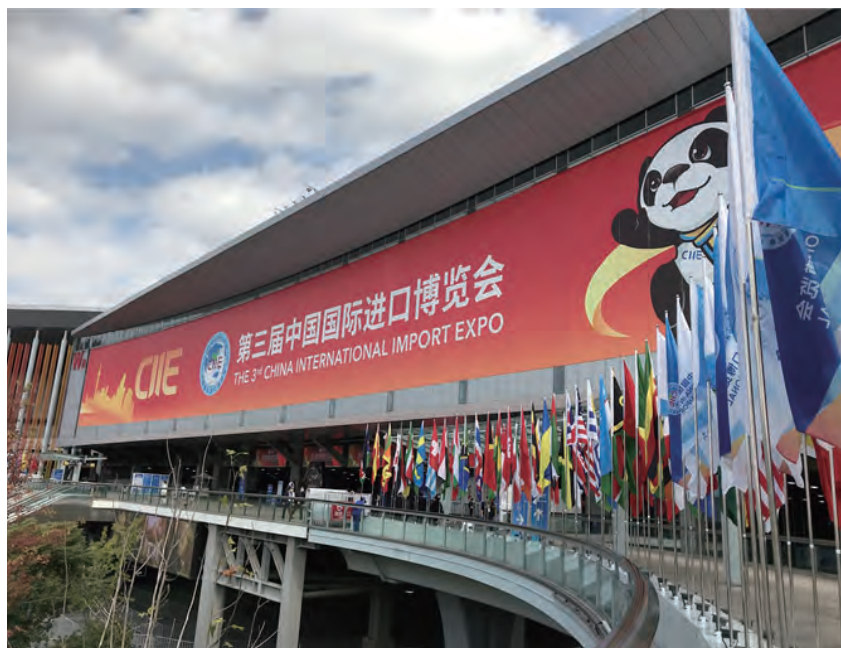


2月10日より業務開始となりましたが、私のようなオフィス勤務者は当然在宅勤務、そして、その頃から各地で本格的なロックダウンが実施され、それを直視しながら仕事上ではいくつかトラブルに直面、ただ製造・物流などが低い稼働率で均衡していたためか大きな混乱には至らず、その頃はまだ今回の感染が中国限定という感あり、ただここにいることが不安でした。

しかし2月後半になり、何がどう奏功したのか感染傾向に変化が表れ、それに伴い在宅勤務規制が徐々に緩和され、弊社では3月16日から、いくつもの例外を許容しつつ原則オフィス勤務となり恐る恐る出勤開始、一旦外に出てしまえば変わり身は素早く、それまでの日常の心地よさに感謝し、個人的に控えていた外食を解禁、様子を伺いつつ4月後半から顧客との会食も再開、但し、それまではまるで宇宙服でないと外出しなかった慎重な上海人の変わり身は猛烈に早く、5月の連休時には観光地への渋滞情報がトップニュースとして流れ、各地で絶頂の宴会が繰り広げられるほどにback to normal、屋外麻雀の取締に武力行使していたことが遠い昔のようでした。

そんな中でも、昨年の中国国際輸入博覧会（：2017年5月の一帯一路国際フォーラムで習近平国家主席が開催を宣言、2018年11月に上海で第一回が開催され昨年は第三回、唯一輸入をテーマとする国家級展示会で第三回まで習近平氏も出席することを公言）は、さすがに中止であろうと、私を含め多くの人が考えておりました。しかし7月のある日、上海市政府から予定通り開催するとの正式発表あり、「輸入博って海外からの出展者は？」「隔離する気？」「本当に？」「え？？」何度聞き返しても結論が変わるはずなく出展準備作業を急遽再開、何日間かは忙殺されながら何とか整え、本当に予定通り、11月5日に習近平氏も出席する中で開会、過去の2回とは来客者数も雰囲気も大きく異なるものの、それなりの盛り上がりを見せて無事に11月10日に閉幕、何か底知れぬ力を感じました。

その裏側で、日中間の往来規制緩和をいいことに約10カ月ぶりとなる一時帰国を決意し、輸入博後の11月13日に家族と再会、まだ幼い二人の娘との至福の時間も束の間、11月27日、涙ながらの別れを覚悟and／or期待していた



のは私ばかりで、遊び疲れたか飽きられたかあっさりバイバイ（二人とも）、上海到着後は予定通りホテルの部屋から一步も外に出ることが許されない強制隔離14日間を体験し、12月12日に隔離解除となり、その後は所謂普通の慌ただしい年末を過ごした次第でございます。



ところで、一昨年の豚コレラ、昨今の海外旅行減による内需拡大により高騰を続けた豚肉価格相場に、昨年末ようやく一服感が見られました。消費者物価指数などへの影響はさておき、一消費者としてはもう少し下がることを期待したいものです。そんな中で何やら、半年分のノルウェー産鮭が国中の冷凍庫に保管されているとの噂を聞きました。昨年夏、北京、大連でのコロナ再発の主犯格とされたノルウェー産鮭は、多くの国民に愛されながらも直ちに出荷停止となり、そのまま凍眠となったようです。豚と鮭、消費量で言えば横綱と赤子ではありますが、半年分の鮭達が一気に開放された時、豚に

一矢報いる姿を見たいものです。大統領選，紅白歌合戦と戦はこの世の常，もし両者が戦うなら鮭組を応援し，今年の春節はコスパ回復した豚シャブで一人祝うことを夢見ながら，コロナウィルスの存在を受け入れた上で素晴らしい一年となることを祈念し，新年のご挨拶とさせていただきますたく存じます。

成長に向けた開発が進むカンボジア

双日アジア会社プノンペン事務所

川井田 拡光



新年あけましておめでとうございます。世界中がコロナ禍での新年を迎えておりますが，皆さま如何お過ごしでしょうか。今回，新春便り（カンボジアから）の執筆依頼を受けましたが，自身としてはバンコク駐在時の2004年に執筆して以来2度目の栄誉(?)となります。

今年はコロナ禍の影響で多少は控えめですが，年始の1週間前まではクリスマスのネオンが街中に溢れていました。30℃を超える暑い中のクリスマスも，バンコク，ホーチミン，プノンペンと3都市を経験する中で不思議さをあまり感じなくなってきました。

カンボジアでは仏教が最も多く信仰されていますが，一部でキリスト教も信仰されています。また旧正月も祝う風習があり，街を見ると日本と同様に無宗教的に何でも祝う国民性かなと思います。カンボジア人にとって一番大事なお正月は4月で今年は13～16日でしたが，2020年コロナ拡散を懸念した政府が，直前となる6日に急遽取りやめを発表。但し，4日間の休暇を後日5日間の休暇でリプレースすると発表し，昔読んだ朝三暮四の故事を彷彿とさせる出来事でした。（実際，8月に5日間の休暇が設定されました）

なお，この正月休暇の取りやめは別の意味でも興味深いものでした。当時，カンボジアでの新型コロナの感染者は累計120名で，殆どが海外からの帰国者



クリスマス電飾が施されたプノンペン市内のホテル入口（気温は30℃です）

の到着時PCR検査で発見されており，市中感染は殆どありませんでしたが，正月で隣国タイに出稼ぎに出ていたカンボジア人が田舎に戻り，プノンペンから同じく田舎に戻った労働者と接触し，結果として感染者が首都プノンペンに流入することを恐れた政府は，同時に休暇を取り止めた期間（4月13日から1週間）は，プノンペン及び周辺州から田舎への流出を制限する措置を発令しました。結果，4月中に感染者が増加する事態は避けられましたが，世界中のロックダウンの中でも，首都防衛のためのロックダウンはカンボジアだけではないかと思った次第です。

当時からコロナ感染者が少ないのは検査しないだけで，感染初期の日本と同じような論調が広く語られ，また社内でもカンボジアはどうせ本当はと揶揄されましたが，12月23日時点で感染例は363名，死者ゼロという数字は立派というしかありません。（誤診される可能性があると言われたデング熱での死者も今年は昨年比で減少）そんなカンボジアも，11月には大使館の新設準備



営業停止が空けて1週間後のイオン1号店の駐車場（閑古鳥が鳴いています）

で訪れたハンガリー代表团から感染者が出て、警備を含む政府関係者約10名が感染して、約2千人が隔離対象となった他、12月には刑務所所長夫人が感染して、行動追跡で名前が挙がったイオンが営業停止措置を受けるなど、感染拡大に敏感になっていることは間違いありません。

イオンは従業員や対象期間に来店した一般客など3千人以上にPCR検査を実施し、全員の陰性を確認して3日後に営業再開に漕ぎつけましたが、営業停止の初日は3日間のセール最終日であった他、再開後も顧客の入りが戻らないなど甚大な影響が出ています。当事務所の入居するビルも、1階に入居する中国銀行で感染者が1名出たことを受け、その後4日間のビル封鎖と、関連フロアの従業員約600名がPCR検査対象（延べ3回の検査）となるなど、今の日本で同じことを行くと経済活動が麻痺するような厳しい対応を取っているのが現状です。

そんなカンボジアですが、人口1,600万人、平均年齢はクメールルージュの

苦い歴史も影響して20才半ばと、少子高齢化を迎えた日本からは想像できない活気のある環境です。国民一人当たりGDPは1,600ドル余りと周辺国比で低いですが、2014年に進出したイオンは2018年に2号店を開業、今年11月には2023年に大規模な3号店の開業計画を発表しており、今後も安定的な成長が期待される市場です。

一方、電力や道路や港湾など公共インフラの整備はまだ不十分であり、JICAを始めとした各国の政府援助機関がODAを通じた支援を継続的にを行っています。カンボジアと聞くと地雷除去の必要性や学校教育の未整備など負のイメージを持つ方も多いと思いますが、長年にわたる各国支援の成果として成長に向けた開発が進みつつあります。

ニュースでも報じられていますが、カンボジアは中国寄りの政治姿勢から多くの事業が中国主導で進められており、また直近3－4年は不動産投資でも中国資本が多く流入し、中国人滞在者は30万人とも40万人とも言われます。カンボジア南部の外港があるシアヌークビルなどでは、行き過ぎたチャイナマネーによる開発に懸念を示すカンボジア人も多く、2020年はコロナ禍の影響もあり一部の開発が休止されるなど、将来、中国傾斜に歯止めが掛かった年と振り返られる可能性があると感じます。そんな中、日本人は在留届ベースで約4千人、日本商工会議所の加盟社数は約270社です。コロナ禍で商売が厳しくなった企業もあり、撤退を決めた企業もありますが、ポテンシャルを秘めた国でありタイやベトナムとは違う、小規模な市場でスタートアップ事業の試金石としてのチャレンジも面白い国と思います。

当地で働く中、大企業の駐在員というステータスではなく、NGOや他にもカンボジアに魅せられて来た日本人が多いことに驚かされます。男性の場合は、在カンボジア歴が軽く10年を超える中年猛者が目立ちますが、女性の場合は10年選手こそ少ないですが、4－5年を過ごし、今後も長らく過ごすことを目標とする30前後の方がとても多く、現地企業や外資のジャパンデスクのようなポジションで活躍されています。他に日本での事業で幾らかの財を成し、その資金を持込んで更なる飛躍を目指す日本人に出会う機会も度々あ

り刺激を受けることには事欠きません。

当事務所の営業課長は日本に7年の留学経験があるカンボジア人で、日本語も達者で日本文化にも造詣が深い人材です。当地には日本への留学経験者が設立した留学生協会が存在しますが、日本政府の支援で日本に留学したカンボジア人は1,000名を超えています。中国傾斜が目につくカンボジアですが、こうした留学経験者の中にも政府高官としての地位を得る人物も出て来ており、将来的にこうした人材がカンボジアの正しい発展をリードする立場になることを願ってやみません。こうした留学生の多くは留学で得た知識とコネクションを活かして商売を広げており、こうした人材の活用が当地での商売を成功に導く重要なポイントと言えそうです。

JFTA 関係者の方がご興味ある畜産関連では、隣国タイから進出しているCPが最大プレイヤーですが、他にベタグロ、中国から新希望と世界のビックネームが進出しています。畜肉の消費は豚肉が主流ですが、ASFの影響で多くの養豚事業者が事業継続を諦めており、需要が鶏肉にシフトしている印象を受けます。また隣国から非合法に生体や畜肉が輸入されるケースも多く、カンボジアでの畜産事業の発展のためには、こうした水際対策を含めた物流整備が重要です。

プノンペンの人口は約200万人で、市内には日本料理店も多く存在しています。高級店の顧客の多くは日本人以外で、カンボジア人の富裕層に加えて中



プノンペン市内で販売されているワサビ
(どれが偽物か分かりますか?)

国人や韓国人の顧客も多いと聞きます。またコロナ禍ではありますが、海外に出られないカンボジア人の需要も旺盛で、2020年には多くの高級店が相次いでオープンしました。こうしたお店で使われる食材の多くは輸入ですが、従来は非正規で持ち込まれる物流が多くを占めており、人の往来が制限されるコロナ禍では新た

な物流の開拓も重要となっています。

空輪ベースで鮮度が重要な生鮮商材を複数の顧客に対して注文に応じて配送する仕事は、ある意味で、皆さんが最初に学ぶ受渡しの仕事に通じる部分があることを発見しました。今は注文を左右に繋ぐ形でモノが動いていますが、急に追加で必要になった顧客と、急に要らなくなった顧客を上手くマッチングすることは、顧客サービスを高め、場合によっては商売の利鞘以上の価値を生み出す可能性があります。昔、スティーブジョブズが大学の卒業式での祝辞で述べた、目の前にある仕事に全力で取り組むことが重要で、将来どこで何の役に立つかわからないという金言に触れた思いです。

最後になりますが、2021年が皆さまにとって実りの多い、また健康で過ごせる一年になることを祈念して新春便りとさせていただきます。

南国ベトナム・ホーチミンから

Kanematsu Vietnam Co.,Ltd. Feed & Grain Dept

鹿田 昌寛



飼料輸出入協議会会員及び関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。ベトナム・ホーチミンより謹んで新年のお慶びを申し上げます。2018年6月に赴任いたしましたので、当地では3回目の新年を迎えることになりました。ここ南国ホーチミンでも10月末のハロウィーンが終わると、街はクリスマスモードになり、毎日30度を超しているわけですが、年末に向かっていく雰囲気を味わうことが出来ます。

コロナの影響より、旅行者・出張者不在となりますので例年に比べ街を歩いている人の数はどうしても少ないものの、ベトナムは世界で最もコロナを押さえ込んだ国の一つでして、11月25日時点での総感染者は1,305人（死者35人）のみ、2020年GDP成長率は2.8%と予想されており、東アジア／太平洋



市内のホテルやショッピングモールにはクリスマスムードを演出するデコレーションが多数



不要不急の商業サービス停止期間中ガラガラの日本人街（レタントン通り）

地域で最高値になる見込みであり、年末に日本のように会食／会合が自粛されるようなことはありませんでした。そんなコロナ優等生のベトナムですが、もちろん今までに何度もコロナ蔓延可能性に至る可能性はあったものの、徹底的な追跡と隔離で押さえ込んでいるという形です（感染者が大きく発生するたびに、カラオケ・ディスコ・バー・ビアクラブ・マッサージ・映画館・インターネットカフェ等不要不急の商業サービスを停止させることで対処）。

ご存じの通り、菅総理大臣が初外遊にベトナムを選ぶほど、日本にとって経済的にも政治的にも年々重要な国になっており、在ホーチミン邦人会社数は毎

年増加、日本人の数も毎年増えておりますが、それでもホーチミン中心部のレタントン通り界隈（日本食飲食店が集まる）では少なくない数が閉店に至っております（長くホーチミンに滞在されている駐在者の方々が馴染みにしている15年以上続く日本料理店「くーろん」も、誠に残念ながら閉店となりました）ので、コロナ前の往来が自由にできた時の出張者が多くみられた賑わいを取り戻す日が一日も早く戻ってくることを切に願っております。

◆完成度の高い観光地フーコック島

コロナ禍のため、ベトナムでも観光は国内になってしまいます。「本当は近場のアジアに行きたかった…コロナ憎し」という思いはもちろんです、在住日本人からも非常に評判の高いフーコック島に行ってきましたので、少しご紹介させていただきます。ホーチミンから飛行機でわずか35分程度の近場に位置し、海が非常にキレイなのはもちろん、ここ10年くらいで観光開発が進み、世界各国の有数ホテルが軒並みオープンし、世界中から観光客を集めている島となります。ビンパールランドという遊園地・サファリ・ウォーターパークもあれば、フーコック島南部の島を結ぶ世界最長のケーブルカー



▼ フーコックの場所 ホーチミンからわずか35分



美しいサオビーチ



ビンパールサファリのキリン



イカ釣り船に乗り込む



世界最長ケーブルカーからの景色

(日本で言うロープウェイ) 7,899mもあり、品質の高い胡椒やニュックママ（魚醤）の産地でもあります。

◆在ホーチミン日本人サッカーチーム（サイゴンジャパンフットボールクラブ）

サッカーが盛んな国ベトナムでは土のグラウンドではなく、人工芝もしくは天然芝（綺麗ではありませんが）でサッカーをすることが出来ます。30代後半になってサッカーでハッスルするとは思っていませんでしたが、Under40のチ

ームに所属して (Over40 チームもございます), 毎週土日のどちらかで練習や試合を行っております。Under40という括りですが, 最年長の方は43歳, ベトナム在住歴は17-8年! チームのプレイヤー兼総監督としてチームの活動を全面的に支えている上, 試合でも20代に負けない活躍をされるというスーパーマンでして, 「年上の方がハッスルしている姿に力を貰える, 自分もあなりたい!」と毎週末プレーに飲み込んでおります (が, 体はついてこれず, 最近膝をケガしてしまいました)。

毎年, アジア在住日本人がカ所に集まり, アジア在住日本人最強フットボールチームを決めるJ-ASIA CUPという大会 (Under40, Over40は台湾で開催されました) が



参加者全員での集合写真



サイゴンジャパン集合写真



3位を決定づけるゴールの後



大会後の懇親会の様子，盛り上がってます

あるのですが，それにホーチミン代表として参加しているチームとなります。この大会は既に2019年中国／広州大会で23回目，この時は18チーム（遠くはドバイ，デリーから）で総勢400名程度の参加人数だったと思います。昔のサッカー部の合宿・遠征のような懐かしい気分を味わうことができる上，他のアジア各国で頑張っておられる日本人の方とコミュニケーションが取れる非常に素晴らしい大会でした（サッカー大好きなおじさん達が異国の地で昔のようにいかない体でドタドタと無邪気にボールを追いかけている姿は美しい！）。

2020年はコロナのために，大会中止になっておりますので，この素晴らしい大会の機会を一つ逃したのは非常に心残りではあります。

◆ベトナム人のサッカー熱

ベトナムはサッカーの成長が著しく，2019年東南アジアカップ（SEA Games 30）では見事60年ぶりの優勝をしており，試合後にはバイクで車で「ベトナム優勝！ベトナム優勝！」と試合後数時間は大盛り上がりでした（個人的には西野朗タイ代表監督のタイに頑張ってもらいたかったですが）。ここでも国の勢い／若さを感じます。

一方で，国内のサッカーリーグは意外と盛り上がっていない印象…。ベトナムの人との「好きなスポーツは？→サッカー，最近すごい強いだろ！」「好



優勝後、国旗を掲げてバイクで練り出す若者たち

きなサッカー選手は？→クワンハイ！（ハノイFCの国民的サッカー選手）」
「Vリーグは見に行くの？→見に行ったことがないなあ。」というやり取りは
これまでに何回もいたしました。それでも国民スポーツはサッカーと言うく
らいベトナム代表の試合は皆が大好きですので、これからもっと盛り上がっ
ていくでしょう。

そして、サッカー好きの在住日本人にとっては最高のニュースが入ってき
ました。横浜FCからVリーグ1部サイゴンFCに移籍することが発表された
元日本代表／松井大輔選手ですが、既に隔離を終え（12月28日時点）、初練習
に参加しているようです。多くの在住日本人はベトナムでサッカーの試合な
んて見たことがないと思いますが、この1年で多くの日本人がベトナムサッ
カーに触れることになると思われます。非常に楽しみです。

以上、弊方興味に偏ったレポートで恐縮ですが、ベトナムという非常に活気
のある国に興味を持っていただければ幸いです。是非コロナが落ち着いた際
には、皆様にも当地にご来訪いただき、「これぞ伸びていく国」というダイナミ
クスさを感じていただければと思います。最後になりましたが、2021年こそは
コロナ終息、皆様と日本経済にとって復活&飛躍の年となり、業界の更なる発
展の年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

たんとんのご紹介

日清丸紅飼料(株)畜産事業室

井田 歩



たんとんとは

この度、日清丸紅飼料株式会社はグループ会社で種豚の生産、販売を行うピクアジェネティクス株式会社の主力商品である高能力種豚PIQUAの生産過程より生まれてくる二元豚を『たんとん』とブランド化し、デビューさせました。



たんとんの特長

たんとんの最大の特長は二元豚，という種の違いより生み出されるヘルシー＆高たんぱくな栄養価と味わいです。

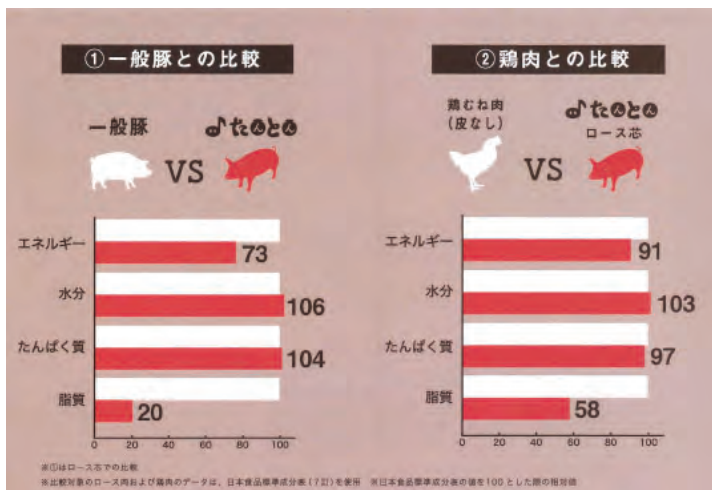
二元豚，という言葉をご存知の方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。

二元豚とは二種類の品種を掛け合わせた豚のことを言います。よく聞く三元豚は三つの品種が掛け合わされた豚のことをいいます。たんとんはランドレース（L），大ヨークシャー（W）という二つの品種を掛け合わせた二元豚，となります。

品種の違いも含めてたんとんは様々な魅力を持っています。

①ヘルシー＆高たんぱくな栄養価

『たんとん』は皆様にた〜んと食べて欲しい，そんな思いで名づけられました。た〜んと食べられるのはヘルシー＆高たんぱくという特長のおかげです。



たんとな 栄養価比較

たんとなは、一般的な豚肉と比較して同等のたんぱく質を保有する一方で、脂質、カロリーが低い特長があります。また、鶏むね肉と比較しても、たんぱく質は同程度、かつ脂質が少ない豚肉です。

これは脂の乗りやすい雄（デュロック）を交配していない二元豚ゆえの特長であります。脂身の美味しさ、が基準とされ、現在国内での主流は三元豚ですが、たんとなはその三元豚とは異なる魅力を持ちます。

実際食べてみると、脂質の少なさから『あっさりとして美味しい』といったお声を頂きます。

②飼料会社だからこそできるワンストップな生産体制

飼料会社で豚肉を販売、となると皆様なぜ?? が頭に浮かぶかもしれません。当社の主軸は生産者の皆様に安全高品質な飼料を提供することで食の安全をお届けすることです。いわば食の川上の部分を担ってまいりました。しかし、たんとなは種豚、子豚、餌全てを当社、グループ会社も含めて一括で賄うことで食の川上から川下まで安全安心をお届けする、という新しい試みとな

ります。これにより出荷までの全ての工程でのトレーサビリティが可能となり、我々が責任を持って農場からワンストップでたんとうんをお届けできるようになりました。もちろん我々は飼料会社ですので、たんとうんの食べる餌は全てオーダーメイドで管理しています。お客様の生産現場での課題を解決するため、きめ細やかな対応で日々飼料の管理を行っていることも強みです。

PR活動

ヘルシー＆高たんぱくという特長より健康を意識する人々や赤身肉に代わる商品として、新しいジャンルの豚肉としてのブランド形成を進めています。

2020年は2月に外食FOODTABLEにて出展を行い飲食業界へのPRを行いました。また、11月29日（イイニクの日）にはフィットネス競技の大会への協賛を行い、健康を意識する人々に向けて、徐々に露出の機会を増やしてお



11月29日（イイニクの日）フィットネス競技の大会への協賛の様子

ります。今後はホームページ等を中心にたんとんにまつわる様々な情報を更新してまいります。

現在、たんとんは都内で5店舗の中国料理店を経営する味坊グループ全店で味わえます。味坊グループでは中華料理の中でも珍しい中国東北地方の料理を提供しています。たんとんのあっさりとした味が、特長ある中国東北地方の味付けにマッチすると評判です。都内には神田、御徒町2店舗、湯島、三軒茶屋の合計5店舗でたんとんが味わえます。お近くにお越しの際はぜひ足を延ばしてみてください。



大会出場選手の才木玲佳さん

最後に

たんとんは脂の美味しさ、美しさが重視される従来の豚肉の概念からは逆転の発想から生まれました。

通常の豚肉とは異なるジャンルへのアプローチを始め、新しい豚肉の価値を創造して参りたいと考えております。『たんとん』だからこそ使いたい、と選んでいただけるような豚肉になるよう提案を行ってまいります。どうぞたんとんをよろしくお願い致します。

《お問い合わせ》

日清丸紅飼料株式会社 たんとん窓口

電話番号：03-5201-3295

E-mail：info_tanton@mn-feed.com

HP：https://www.mn-feed.com/tanton/



関西グルメのある一品「明石焼き」

伊藤忠商事(株)飼料・穀物部飼料課

仲井 研也



伊藤忠商事株式会社の仲井研也と申します。

本年はコロナ禍の中、様々な予想外の事態が数多く起きた年でした。皆様におかれましては、この災禍の中大変なご苦勞をされておられることと案じております。現在各地で感染が広まり、不安や戸惑いもあると存じますが、くれぐれもお体ご自愛ください。皆様が健やかにお過ごしになれますよう弊社一同お祈りいたします。

さて、入社して約半年が経ちました。私は兵庫県の出身なのですが、たまに恋しくなる味、関西のグルメの中のある一品をご紹介します。私の主観、偏見も多々入っており恐縮ではございますが、軽く読み流していただければ幸いです。

さて、関西のグルメと聞けば皆様は何をご想像されますでしょうか。一番有名なものはまさに粉モン文化の王道「たこ焼き」でしょう。

しかし、今回ご紹介させていただくのは、「たこ焼き」ではなく、世界最長の吊り橋「明石海峡大橋」、 「子午線のまち」で有名な明石の郷土料理、「明石焼き」です。東京の方は、明石焼きとお聞きになられてもご存じない方もいらっしゃると思います。一見たこ焼きとよく間違われる明石焼き、まったく別の食べ物であるということを知らない人は少なくありません。「たこ焼き」といえば、ソースがかかったものが一般的ですが、外観が似ている「明石焼き」は、だし汁につけていただくスタイルが基本となります。明石市内には70軒以上の「明石焼」を提供する店があり、明石の食文化として定着し



明石海峡大橋と明石の街並み



三宮「たちばな」にて

ています。今回はそんな地元に強く根付いた明石焼きをご紹介します。

【明石焼きの誕生】

明石焼きの起源は江戸時代に遡ります。江戸時代末期の天保年間に江戸のべっ甲細工師の江戸屋岩吉が明石に滞在した際に、あまりの寒さで割れた卵が固まってしまうのをみて、その接着力に注目します。研究の末、「明石玉」という球の形をした当時高価だったサンゴの代わりとなる模造サンゴの開発に成功し、盛んに生産が行われました。それらはかんざしなどの装飾品に使用されました。「明石玉」とは硝石や滑石などの粉末と卵白を原料とするため、どうしても大量の黄身が余ります。捨てるのももったいないので、「明石玉」を製造する鍋を流用して「明石焼き（玉子焼）」を作り始めたのではないかとされています。これが玉子焼き、のちの明石焼きの誕生の瞬間とされています。明治時代には屋台で販売される様になりますが、大正時代には大正8年から「明石焼き（玉子焼）」の屋台を営業していた向井清太郎氏の「玉子焼」はとりわけ評判がよく、遠方からも多くの客が訪れたそうです。



「明石玉」付きのかんざし

【玉子焼きにタコが入った理由】

明治時代中頃になると外国からセルロイドが入ってきたことで、明石玉の職人がどんどん廃業に追い込まれてしまいます。すると、職を失った職人た

ちが、手元に残った明石玉製造用の型を利用して丸い食べ物を屋台で販売を開始します。昔から、明石はタコが名産品となっていたので、この丸い玉子焼きの中に名産品のタコをいれてみたら大人気となり、「明石焼き」が誕生したわけです。

【たこ焼きが先か明石焼きが先か】

実はこの明石焼きのアイデアから着想を得て誕生したのがたこ焼きとなります。明治時代から大正時代にかけて、大阪では「ラジオ焼き」または「チョボ焼き」と呼ばれていた屋台で売られている人気の庶民の食べ物がありました。これは、小麦粉を溶いたものにコンニャクや豆類等の具が入った、具がタコではない、たこ焼きの一種のようなものでした。

しかし、昭和に入ると、これが大進化します。

ある日、具が牛のすじ肉のラジオ焼きの屋台をしていた大阪の今里にある「会津屋」では、常連さんに「大阪では具が牛肉だけど、明石では具にタコが入ってるよ」と言われたことをヒントにして、ラジオ焼きの具にタコを入れてみたら、美味しいと大評判になりました。これが、小麦粉が主体の生地の大阪の「たこ焼き」の誕生とされています。たこが入った明石焼きの誕生からはかなり遅れた昭和10年のことでした。そして、このお店から大阪中にたこ焼き文化が広まって行き、その後、全国的に普及するようになりました。「明石焼き」がたこ焼きの一種なのではなく、むしろたこ焼きの元祖こそが「明石焼き（玉子焼）」だったのです。

また明石焼きとたこ焼きはこんなところにも違いがあります。まず一つ目は生地です。たこ焼きに比べて玉子が多いということは、多く知られている事実ですが、もう一つ欠かせないものに「じん粉」があります。「じん粉」とは、小麦粉に含まれるでんぷんを精製した粉のこと。これが生地に入ることによって、明石焼き特有のフワフワの玉子焼きのような食感が生まれ、柔らかくても崩れません。そのため、小麦粉主体のしっかりした食感の形が球状のたこ



左：たこ焼きの型，右：明石玉製造用の型

焼きとは異なり，丸い形でも球形よりはトップが平べったい形となっています。

二つ目は天板です。明石焼きを作るのに使用される天板もたこ焼きとは異なっており，銅製のものが使用されています。これは，熱の伝導率に非常に優れているので，明石焼きの食感に欠かせないソフトでフワフワに仕上げることができるからです。明石焼きの本場のこの地には，「手打ちの明石焼き用の銅製天板」を作る優れた職人が存在します。機械で作られたものでは再現できない職人技が秀でた均一な厚さで明石焼き用のくぼみが打ちだされているので，見た目にもムラなく綺麗に焼きあげることができるということです。

【まとめ】

兵庫県民が愛してやまない明石焼きですが，関西を代表するB級グルメ，たこ焼きのパワーに圧され，関西出身の方でも食べたことがない人が多数いる



たこ焼の看板

という悲しい現状にあります。皆様神戸・明石を訪れた際には是非一度明石焼きをご賞味ください。その際は玉子焼き又はたこ焼きという看板を出している店を選ぶことをお勧めさせていただきます。理由は下記余談をご参照ください。

余談です。-----

明石焼きの楽しみ方はバラエティーに富んでおり、その中でも明石焼きにソースをつけるのは有りか無しか論争は目玉焼きに塩か醤油か論争と肩を並べるほど明石ではポピュラーなものとなっております。また明石焼きの呼び方で、人物の背景が垣間見えたりします。明石焼きを明石焼きと呼ぶ方は大体大人になってから明石焼きデビューした人が多く、たこ焼き派に属してい

ます（日本人の9割以上の方が該当します）。次に玉子焼きと呼ぶ人はご年配の方が多く、たこ焼きも明石焼きも双方を愛している関西人の方が多いです。最後に明石焼きをたこ焼きと呼ぶ方は、圧倒的明石焼き派で、たこ焼きはほとんど食べないという方が多いですが、かなりレアな方たちで、主に明石焼き店の常連さんが該当いたします。彼らは明石焼きこそたこ焼きの原点であるということを、呼称から主張していると言えます。従いまして、玉子焼き又はたこ焼きという看板を出している店というのは、明石焼きをこだわりぬいている店主がいる可能性が大いに高く、おいしい明石焼き（玉子焼き）に出会うことができるという訳です。

ちなみにwikipediaでは玉子焼きと記述されておりました。以下、引用文です。

「玉子焼（たまごやき）は、鶏卵、浮粉（うきこ）や沈粉（じんこ）と呼ばれる粉、小麦粉、タコを材料に調製される軽食で、兵庫県明石市の郷土料理である。地元の明石市および東播磨（特に加古川市、高砂市、播磨町、稲美町）、神戸市西部（西区、垂水区、須磨区など）以外の地域では、卵を調理した卵焼きと区別するため、明石焼（あかしやき）と呼ばれることが多い。」

【最後に】

稚拙な文章にも関わらず、最後までお目通しいただきまして、誠にありがとうございます。現在、世界的なコロナウイルスの蔓延により、皆様公私ともに大変な状況下と思いますが、皆様と皆様のご家族、ご友人がご健康に過ごされることを心よりお祈りしております。

以上、各地の食生活でした。

① トウモロコシ相場大荒れ

～今年は8年連続の豊作も期末在庫率は前年対比減少～

～コーンなに値動きが激しいのか～

② 中国爆買い

～米国大豆・トウモロコシを大量購入！日本より沢山輸入しチャイナ！～

③ 国産大豆粕・菜種粕・グルテンフィードの発生量大幅減

～コロナによる国内食用油、飲料需要減少により～

④ アメリカ中西部にストーム「デレチョ」直撃

～今年も続く異常気象、カリフォルニアの山火事、中国大洪水、ウクライナの旱魃～

⑤ ブラジル大豆作付け遅延（La Nina の影響か？）

⑥ コンテナ不足で海上運賃大幅値上げ

～中国向け需要が牽引～

⑦ 米国次期大統領は民主党バイデン氏に

～トランプもジョーカー使えず～

⑧ 原油価格一時マイナス取引に。ボラティリティ高い相場展開

⑨ 水産飼料は出荷量減少へ

～コロナ・オリンピック延期で養殖魚消費が落ち込む～

⑩ マイロ価格上昇、国内飼料米競争力ある展開に

<番外>

- ・ コロナによる強制働き方改革／リモートワーク・会議の普及
～2次会なくて良かったな、リモート飲み会～
- ・ 鬼滅の刃大ヒット！世相を反映か
- ・ はやぶさ2 サンプルリターンを完遂後、次の新たな航海へ

第52回 (2020年) Feed Trade アンケート当選者発表

惜しくもホールインワン賞は該当者なし

〈設問と正解〉

第1問 2020年7月1日(水)の米国産トウモロコシのシカゴ定期

12月限の引け値はいくらでしょうか。

正解 360.50セント

第2問 2020年10月1日(木)の米国産トウモロコシシカゴ定期

12月限の引け値はいくらでしょうか。

正解 382.75セント

第3問 2020年米国産トウモロコシの生産高について

(2020年10月度のUSDA需給報告における)。

正解 14,722百万ブッシェル

第4問 2020年12月1日(火)現在の対米ドル換算率レート

(三菱UFJ銀行TTS) はいくらでしょうか。

正解 105.26銭

各賞は、以下の皆様に決まりました(敬称略)。

第1問 ホールインワン賞 なし

ニアピン賞	小林 太一	三菱商事(株)	360.00
-------	-------	---------	--------

残念賞	結城 大河	兼松(株)	362.00
-----	-------	-------	--------

残念賞	西塚 茂輝	豊田通商(株)	362.00
-----	-------	---------	--------

第2問 ホールインワン賞 なし

ニアピン賞	渡辺 温男	貿易通信	382.50
-------	-------	------	--------

残念賞	竹内宏一郎	三菱商事(株)	382.00
-----	-------	---------	--------

第3問 ホールインワン賞 なし

ニアピン賞	田口 鑑	兼松(株)	14,700
-------	------	-------	--------

ニアピン賞	西塚 茂輝	豊田通商(株)	14,700
-------	-------	---------	--------

第4問 ホールインワン賞 なし

ニアピン賞	居樹 拓	伊藤忠商事(株)	105.40
残念賞	佐野 航太	伊藤忠商事(株)	105.50
残念賞	小國 聖仁	伊藤忠商事(株)	105.50

第53回 (2021年) Feed Trade アンケートのご案内

飼料輸出入協議会
『Feed Trade』編集委員会

恒例のFeed Tradeアンケートを下記により募集いたします。奮ってご応募ください。

【設問】

第1問 2021年7月1日(木)の米国産トウモロコシのシカゴ定期12月限の
引け値はいくらでしょうか。(セント/ブッシェル)

第2問 2021年10月1日(金)の米国産トウモロコシのシカゴ定期12月限の
引け値はいくらでしょうか。(セント/ブッシェル)

第3問 2021年10月度のUSDA需給報告における2021/22クロープ米国
産トウモロコシの生産高はいくらでしょうか。(百万ブッシェル)

第4問 2021年12月1日(水)現在の対米ドル換算率レート(三菱UFJ銀行
TTS)はいくらでしょうか。(円)

それぞれの質問につきぴったりの数値だった方にホールインワン賞、最近似値を出された方にニアピン賞、次点の方に残念賞を差し上げます(上位者が2名以上の場合、残念賞は割愛いたします)。

なお、ご回答は2月19日(金)までに下記あて、FAXまたはEmailにてお願いいたします。

飼料輸出入協議会 電話 03-6457-9550 FAX 03-6457-9551

Email jfta-o@galaxy.ocn.ne.jp (宮本宛)

または, jfta-nishida.f@snow.ocn.ne.jp (西田宛)

株式会社 カーギルジャパン

わが社の主原料担当者

(株)カーギルジャパン 飼料穀物部

三村 賢司



明けましておめでとうございます。カーギルジャパンの三村と申します。年末年始休暇はどうお過ごしになられましたでしょうか。昨年を振り返ってみると、コロナ禍に始まり、コロナ禍に終わった1年だったと改めて感じています。皆様におかれましても、テレワークや時差出勤、面談や会食の自粛など様々な影響があったことと思います。オンライン会議やテレワークにもだいぶ慣れて参りましたが、やはり1日も早く以前のように皆様とお会いし、顔を見てお話しが出来る日常に戻ってほしいと強く願っております。

今回は『Feed Trade』の紙面をお借りし、弊社カーギルジャパンの主原料担当者のご紹介をさせていただきますが、その前に弊社カーギルのことも少しだけご紹介したいと思います。

弊社カーギルは遡ること156年前、1865年にウィリアム・ウォレス・カーギルがアイオワ州で穀物倉庫業を営み始めたことが起源です。6年前にはちょうど設立150周年を迎えました。日本では、1956年にトレーダックス株式会社としてスタートし、1983年カーギルジャパンに商号変更しております。現在の本社はミネソタ州ミネアポリスにあります。ミネアポリスと聞いてピンとくる方もいらっしゃると思いますが、昨年アメリカで起きた「ブラック・ライブズ・マター」の発端となるジョージ・フロイドさんの事件が起きたのがミネアポリスでした。本来は自然豊かで治安も良い都市ですので、今はまだ海外旅行・出張が難しいですが、今後機会がありましたら是非一度は訪れていただきたいです。



カーギル本社Lake Office（数年前まで上級役員の執務室として使用されておりましたが，残念ながら現在は使用されていません）

現在，カーギルは約70カ国にオフィスを構え，穀物以外の食料原料も多く取り扱っております。近年では，中国やベトナムで積極的な投資を行うなどアジアは弊社カーギルのなかでも，成長地域となっております。カーギルジャパンは他のアジアオフィスに比べ歴史は古く，お兄さんの存在ではありますが，日本経済同様に今の勢いでは残念ながら他のアジア各国に押され気味です。カーギルジャパンは，カーギルの一員であるとともに，日本社会の一員として，日本の飼料業界ひいては日本経済の成長に貢献できるよう，日々業務に励んでまいりたいと考えております。

さて，前置きが長くなりましたが，今回は主原料担当者をご紹介します。

◆松 本 篤

2020年、カーギル入社。現在はトウモロコシの受渡業務およびプライシングを担当。

<担当者コメント>

11月から飼料穀物部に配属されました松本 篤と申します。

日本でも数社しか取り扱えていない穀物の商いに魅力を感じ、この仕事を志望しておりました。これまで行ってきた仕事とは全く勝手が違う世界で、驚きと発見そして勉強の日々ですが、プロの穀物商人としての自覚を持ち、日々仕事に取り組んでいきたいと思っています。

趣味はマラソンです。通常のスポーツの大会では、秀でた成績を残した数人しかメダルは貰えないですが、マラソンは完走するだけで貰えるというお



得感に惹かれ、12年目になります。長期出張で東南アジアにいた際も、30℃の中、メダル欲しさに完走しました。(笑)

コロナで大型のマラソン大会が軒並み中止になってしまっておりますが、再開したらまた出たいと思います。よろしくお願いいたします。

◆梶 陽 宏

2007年、カーギル入社。飼料穀物部と蛋白飼料部を兼任、トウモロコシ・大豆粕の商売・受渡を担当。

<担当者コメント>

入社してから早いもので丸14年の歳月が流れました。前職は全国農業協同組合連合会にて東京・大阪で主原料・副原料・油脂を担当、現在は飼料穀物部と蛋白飼料部両部でトウモロコシ・大豆粕の営業職（商売・受渡）をしており、社会人になってから一貫して同じような業務を行っております。

皆さん趣味を書いているので私も。数年前からキャンプにハマっております。いわゆるファミリーキャンプです。今年はコロナの影響でほとんど行けておりませんが、標高1,200mを超えるキャンプ場での満天の星空は格別です。(大概が飲み過ぎて夜トイレに行く道すがら見上げるのですが…)



ヒロシのようなソロキャンプにも憧れるのですが、それは子供が巣立ってからの楽しみということで。

また、趣味ではないですがプライベートでは少年野球のコーチをしております。2020年2月中旬以降の弊社の在宅勤務体制で完全に出不精になった身としては唯一身体を動かさず場となっており（とは言っても偉そうにコーチングするだけで実際のところ身体はあまり動かしていないのですが）、土日は朝から夕方まで子供たちと関わっております。

◆松下 佳代

2008年、カーギル入社。食糧穀物部（現 食糧穀物・菜種部）にて米麦のフォワーダー業務を担当。その後、2010年より飼料穀物部配属となりトウモロコシのフォワーダー業務を担当。

<担当者コメント>

金融機関にて外国為替業務に従事していましたが、次第に物の流れが見える業務に携わりたいと思うようになりました。その後ペットフードの輸入業務を経験しましたが、穀物の世界は製品のそれとは全く異なり初めて知ることばかりでした。10年以上経った今も毎日学ぶことがあります。

以前、“年を重ねると『走る・踊る・（轆轤を）回す・（山に）登る』”というようなエッセイを読んだことがあります。私自身、気づいた時にはマラソンをし、フラを習い、器を作り、山登りに！ 昔は全く興味が無かったのですから不思議なものです。

コロナ対策の在宅勤務も間もなく10カ月を超えます。習い事もお休み、慣れない在宅勤務で朝から晩まで1日中パソコンに張り付き、オン・オフの切り替えができずにいました。そこで、運動不足解消と気分転換、また生活リズムを整えるために3月から早朝ジョギング始めました。雨の日以外平日は毎日走ります。春・秋は快適に、夏は日焼けをして真っ黒に、冬を迎え寒くて起きるのが辛くなってきましたが、早朝ジョギングまだまだ続きそうです。



写真は以前登った西穂高山頂です。こういう景色を見るとまた登りたくなります。

◆三村 賢司

2013年、カーギル入社。トウモロコシの受渡業務を経て、現在は主にトウモロコシ商売を担当。

<担当者コメント>

再び、三村です。私自身のご紹介も少しだけさせていただきます。中途入社でカーギルに入社し約7年半が経ちました。社会人歴は12年目となり、時間の流れの速さを日々感じております。カーギルジャパン入社後は一貫してトウモロコシに携わっております。国際的なトレードや相場のダイナミクスに惹かれてこの業界に入ったものの、さすがに昨年の中国による米国トウモ



収穫後のトウモロコシ畑にて農家と（左が三村）

ロコシ・大豆の大量買付やシカゴ先物相場の上昇には肝を冷やすばかりでしたが、この相場を楽しんでこそ一人前と自分に言い聞かせて昨年を乗り切りました。言い聞かせの効果か、今年はどんな相場になるかと今からワクワクしております。皆様も昨年の相場にお疲れのところかもしれませんが、気持ち新たに今年の相場を一緒に楽しみたいと思っております。

最後に私事ですが、昨年第一子（息子）が生まれました。コロナ禍により在宅勤務が多くなり、家族と過ごす時間が増えたことは幸せなことでした。コロナ禍のため不都合や大変ことも多いですが、そのなかでも前向きなことを見つけ、日々精進してまいりたいと思います。

New Balance

< 4 >

岩崎食料・農業研究所 所長

岩崎 正典



■今回も驚きがあった9月1日の四半期全米在庫報告

何時になれば収穫プレッシャーが掛かるのかと、今季の最安値で先物を手当てすることを考えていた、世界の実需者の間にフラストレーションが募っていた。9月も下旬になって、シカゴ定期はそれぞれの下値支持線の働き具合を確かめるべく下押しされた。9月末の四半期在庫報告を控えて、収穫の進捗が期待出来る天気予報が流れると、市場は旺盛な中国向け船積み需要を充たすのに十分な新穀の作柄を予想した。9月27日時点の週間作況作柄進捗報告では、概ね平年並みの農作業の進捗状況が示され、秋冷乾燥型の天気は、秋の収穫作業に最適と判断された。ところが、9月30日に米国農務省から発表された四半期在庫調査報告が、定期市場に広まった収穫プレッシャーを解消して、市場心理を供給の引き締め懸念へと急変させた。市場の事前予測と一致したものは何もなかったことで、弱材料を想定していた市場参加者がパニックに陥り、久しぶりに大きな陽線が引かれて、三品ともほぼ10日前の値位置に戻された。

トウモロコシは、前年同期より10%少ない1,995.2百万ブッシェルと発表された。9月度の需給報告では、トウモロコシの期末在庫は2,253百万ブッシェルと予測されただけに、市場参加者の事前予想も、その辺りの数字を想定していた。在庫報告の内容を詳しく見ると、前回6月1日時点の在庫が204.5百万ブッシェル下方修正されていた。何処の需要項目に修正があったのかは後の需給報告を待たねばならないが、この報告では2019年産の生産高推定がこれまでより2.7百万ブッシェル多い13,620百万ブッシェルに修正された。サイ

レージ用途の上向き改訂に加えて、作付・収穫面積が微調整され、単収は前回より0.1ブッシェル多い167.50ブッシェル・エーカーに修正された。9月1日時点での農家在庫は750.8百万ブッシェル、農場外在庫は1,244.4百万ブッシェルで、その割合は農家在庫が37.6%、農場外在庫が62.4%と前年同期と大差はなかった。また、6－8月期の消費推定は3,023.8百万ブッシェルと前年同期の2,982.5百万ブッシェルを上回った。エタノール用途は圧搾統計によると前年同期から147百万ブッシェルの減退になるので、飼料用途の消費が多かったと推察された。

大豆は、前年同期より42%少ない523.4百万ブッシェルと発表された。トウモロコシと同様に9月度の需給報告では大豆の期末在庫は575百万ブッシェルと予測されたので、市場の事前予測もその近辺を想定していた。前回6月1日時点の在庫が4.6百万ブッシェル下方修正された他、前年度の生産高は収穫面積の減少により333千ブッシェルの引き下げが行われた。6－8月期の消費推定は858百万ブッシェルと前年同期を2%下回ったとするが、詳細は10月度の月例報告に委ねられた。9月1日時点の農家在庫は141.2百万ブッシェルで全体の27.0%を占めるが、前年同期は909百万ブッシェルの全米在庫の内265.0百万ブッシェルと全体の29.2%であったので、現物需要が農家販売を急がせたと言える。

	2019年	農場在庫	農場外在庫	合計	2020年	農場在庫	農場外在庫	合計	前年比
トウモロコシ	6月1日	2,949.6	2,252.6	5,202.2	6月1日	2,867.0	2,152.1	5,019.1	▲ 183.1
	9月1日	814.1	1,406.6	2,220.7	9月1日	750.8	1,244.4	1,995.2	▲ 225.5
大 豆	6月1日	730.0	1,053.1	1,783.1	6月1日	633.0	748.4	1,381.4	▲ 401.7
	9月1日	265.0	644.0	909.0	9月1日	141.2	382.3	523.5	▲ 385.5

単位は100万ブッシェル。

10～12月の概況

10月度の需給報告は、四半期在庫報告で確認された期首在庫の下方修正に加えて、面積統計の下方修正による生産高推定の引き下げが行われた。トウ

モロコシは需要見通しが引き下げられたが、大豆では輸出需要の上向き改訂があり、米国の期末在庫見通しが引き下げられた。その結果、トウモロコシや大豆では世界の期末在庫見通しの下方修正に波及して、かつてのように「親亀（米国）がこけたら、子亀・孫亀（世界各国）皆こける」可能性が示唆され、大豆を先頭にして新しい値位置へと買い進まれた。小麦の国際需給が示すように、当面は十分な現物供給量が確保されているが、南米諸国の乾燥気候や黒海沿岸地域の劣悪な播種条件が、投機筋の思惑買いを誘った。大豆は、約定高値を更新して2018年3月以来の高値に到達し、需給の先行き不安感を最も強く反映することになった。次いで、小麦は需給の切迫感が最も少ないにも拘らず2015年7月以来の6ドル台に到達したが、その値位置を維持することが出来ずに終わり、トウモロコシは1年振りの4ドル台を目前にする高値圏に到達した。

■需給の引き締まり懸念を増幅させた天候要因とテクニカルな視野

大豆の場合は、需給の変動要因が限られるので理解しやすいが、トウモロコシや小麦の騰勢は何処で、何によって、何故それが維持されているのか分かり難いが、何となくシカゴ定期の「4－6－10の法則」が働くことになった。

相場の格言は「1割2割はモノの変動、3割4割は人の変動」と言われ、今回の大豆相場高騰の出発点を8月初旬の安値870セントとすると、需給報告当日の高値1,080セントまでは24%の上昇になるので、大豆のファンダメンタルズから逸脱して、市場参加者の様々な思惑を反映する領域に達したことになる。しかし、大豆の収穫作業が半分以上に進み、かつ2年半振りの高値で農家が追加販売を開始したことが収穫プレッシャーになり、その一方でブラジルの天気予報に降水確率が高まったことが、投機筋に利益確定の売りを促した。広大なセラードに展開しているブラジルの大豆畑に、均一な降雨がもたらされるかどうかは不透明であるが、シカゴ定期の高値とリアル安に促され、

ブラジル農家は旧穀の大半を処分したので、今年の端境期にブラジルが輸入国に転じる可能性が噂されるようになったことが、シカゴ定期を10ドル台後半に持ち上げた背景になった。

■現物ベース高がもたらした定期市場の逆鞘体系

10月初旬から続いた冷涼な気候が作物の完熟を遅らせ、トウモロコシよりも大豆の収穫が急がれた。多くの農家が、畑の大豆が過乾燥になることに伴う収穫作業中のロスを心配すると同時に、水分の蒸発が穀物の重量を軽くさせるとして、適切な水分含有量での収穫を急いだと言われる。世界の主産地でも、天候パターンの変化を感じさせる報告が続いたが、カナダとの国境寄りに季節的な秋雨前線が停滞するようになり、中西部では降雨域がコーンベルトの東側に偏ったが、米国の南西部は依然として高温乾燥気候に支配された。米国では季節的な降雨勝ちの天気が、収穫作業と産地の荷動きを遅らせたことで、輸出需要が好調な大豆や実需の手当てが遅れているトウモロコシの現物ベースを強めた結果、先物市場でのヘッジ買が広まり、それぞれの先物が高値を更新する展開になった。

通常、収穫期は現物の出回り量が極大になるので、集荷業者は農家に自家保管を促すための現物持込みを先送りさせる安値を、そして期先渡しにはその間の保管料と金利を補填する高値を提示するのが普通である。ところが、今年は「豊作に売り無し」になったことで、地場の実需が大慌てになった。一番分かりやすいのがエタノール産業であるが、ロックダウンやリモート勤務が一般化した3-4月は、ガソリン需要の激減から工場操業が半減して、お先真っ暗の状態に陥った。前年比で9割操業が定着し始めた矢先に、再び第2波のコロナ感染拡大に見舞われた。将来の販売計画が見通せないことや、トウモロコシの豊作期待から新穀の手当てを見合わせるのとは当然の判断であった。

そうした国内の需要動向に対して、輸出が目覚ましい回復を見せたために、産地段階では国内実需と輸出業者とで現物を奪い合う状況が生まれた。現物

の供給量が増加するに連れて、産地ベースに下押し圧力が最も強まる時期にもかかわらず、主要ターミナル段階の買値が高騰するという異常事態の発生が報じられ、その結果トウモロコシの定期市場では順鞘の価格体系が概ね消滅し、翌年の新穀価格との較差が約25セントの逆鞘を見せるなど、現物需給に想定外の引き締まりが起こったことを印象付けた。

■夏時間が終わり「需要相場」に移行

11月を迎えて夏時間も終了し、その2日後には向こう4年間のアメリカ社会のカジ取りを誰に託するのか、大統領と議会の投票日を迎えることになったので、否が応にも市場は新しい枠組みに敏感にならざるを得なくなった。ある程度は季節性の織り込みが出来ていたが、寒気が強まるとともに大平原北部やカナダとの国境沿いで降雪が観測された。穀倉地帯をテキサスから五大湖に向け斜めに走る秋雨前線が停滞し、コーンベルト東部では大豆やトウモロコシの収穫が遅延したが、南米諸国の天気が好転して、広範囲に降雨が確認されたことがシカゴ定期の弱材料になった。大豆は収穫作業が終盤に移り、中国が買い付けを見合わせたことで、11ドルへの挑戦が阻まれて20日線(1,058.25セント)への後退を強いられた。トウモロコシも約定高値(424.00セント)の更新が阻まれると、テクニカルに利益の確定売りが広まって、4ドルの節目を割り込んで終わった。

更に穀物市場の価格変動性を増幅したのが、バイデン候補の勝利を想定した米国ドル安の動きであった。弱い米国ドルは商品や株式市場に追い風と判断され、大手IT企業株のバブルに便乗する形で、投機筋の思惑買いが大豆を先頭にシカゴ定期に広まったが、株式市場が10月中旬の28,800ドルから月末を控えて26,500ドルへと8%の後退を見せると、シカゴ定期でも利益の確定が促された。米国のコロナ感染者が10万人／日を超えるようになり、厳しい冬の到来と共に低所得者層が貯金を使い果たすのは時間の問題とされ、何時までも政治の停滞が許されない状況になった。11月上旬は中西部に収穫日和

が戻るとの天気予報になったので、残り10-20%になった大豆やトウモロコシの収穫完了が時間の問題になる中、大平原南部の冬小麦地帯も播種と初期生育に必要な追加の水分補給を得たので、天候が相場の話題になる時期は終わった。来年春先まで、米国穀倉地帯と北半球の穀物産地が休眠期を迎えることになり、一先ず「天候相場」は終了して、専ら輸出需要の出方に注目する「需給相場」への移行が始まった。

■最終確定に手間取る大統領選挙結果と大豆の約定高値更新

向こう4年間のアメリカ国家の運営が民主党に戻されるのか、それとも崖っぷちに立たされたトランプ大統領の猛追が効果を見せるのか、世界の注目する大統領選挙の開票速報に市場の関心が集まった。中西部に収穫日和が戻り、今年は平年通りに収穫が完了する見通しと、中国の買付が中断していることが圧迫材料になった。

シカゴの穀物定期は、それぞれのトレンドライン（トウモロコシは395セント、大豆が1,045セント、そして小麦が590セント近辺）が守られると、8月以降は買持の取組指針を堅持して好成績を挙げてきた大手投機筋が、株式の続伸に追随してシカゴ定期の買増しに動き、それぞれの上値抵抗線に向かって反発に転じた。11月度の需給報告に向けて、収穫の進捗状況が市場の期待を下回ったことで、俄かに作柄への警戒感が生まれた。民間調査機関からの作柄・単収見通しが、米国農務省の10月度予測をやや下回る数字になったことや、米国ドル安の動きが支援材料になった。中でも、大豆はブラジル向けに米国大豆の船積みが実行され、ブラジルは大豆油価格を抑制するのに、100万トン大豆輸入が必要になったとの憶測が流れたことで、11ドル台への挑戦が始まった。

こうした作柄見通しの下方修正と、予期せぬ需要が浮上すると、端境期を3週間程度の在庫で乗り切る見通しになっている大豆は、もう一段の需要抑制が必要になったとの見解で買い進まれた。11月になると、世界の穀物産地

に散発的な降雨が観測されるようになったが、土壤水分の補充には不十分と判断される一方、米国産への輸出需要が好調さを維持したことから、大豆は4年振りの高値である11ドル台に買い進まれ、トウモロコシや小麦も株高やドル安を材料に大豆に追随することになった。

北京駐在の米国農務官から、中国のトウモロコシ輸入見通しはこれまでの700万トンではなく2,200万トンとの予測が示されたが、約定高値に届く直前に上値が重くなり利食い売りが広まった。大豆はブラジル政府が米国産大豆の輸入を容易にすべく、ブラジル国内のGMO種子の取扱いを米国基準に合わせることを公表したことや、中国向け大口輸出成約の再開が好感されて11ドルの大口を守って終わった。

■大きな驚きをもたらした米国農務省の11月度需給報告

11月の需給報告は、米国大豆需給の急速な引き締まりが予測された上に、ブラジルの現物需給が逼迫して端境期を乗り切るには、米国からの大豆輸入が必要になったとの話題から、不要不急の需要を抑制するには、もう一段の高値を示す必要があるとの認識に急変した。このように、大豆やトウモロコシは、国際需給の引き締まりが米国の輸出需要に反映されるという、これまでとは反対の連鎖による需給の逼迫化に向かう可能性が浮上し、大豆は4年振りの高値（1,162セント）を付け、トウモロコシもツレ高となって約定高値（428セント）を更新した。そうした需給の連鎖が感じ取れない小麦は、6ドルの節目を割り込み50日線（585セント）に下値支持を仰いだ。三者三様の需給バランスの下、南米諸国の作柄次第では来年の春に米国穀倉地帯で、熾烈な耕作面積争いが繰り上げられる可能性を告げる需給報告になった。

■米国のコロナ感染が急拡大する中、高値警戒感や季節性が強まる

米国の作柄が期待外れになったことに伴う国際需給の引き締まりを背景に、大豆やトウモロコシが需給均衡点の模索を続けた。海外から大豆を大量に輸

入せねば、中国は養豚をはじめ膨大な国内の飼料需要を賄えないし、14億人の胃袋に必要な植物油の供給に事欠くことになり兼ねない。そして、大豆と「ごはんとおかず」の関係になるトウモロコシも、これまで市場で認知されていたよりも中国の需給が引き締まっている可能性が噂される中で、米中通商合意に基づく輸入拡大が進んだ。更に、中国人民元が対米国ドル2年半振りの高値を更新する等、外部要因は政治も経済も、米国からの農産物輸入に迫り風の環境が続いている。従い、国内外の実需家がこれ以上の高値を追えないとして、追加の調達を手控えるようになったことが、米国農務省の統計で確認されるようになって初めて、シカゴ定期の価格シグナルである、高値の役割が果たされたことになる。

市場の関心が、これから本格化する南米の天候相場に向かい、ブラジルでは早植え産地の播種開始が遅れたために、ブラジル大豆の開花・着莢期に影響を与える12月の天気が懸念材料になった。南米産地での天気予報に降水確率が高まったことや、週間輸出成約高が今期の最低を更新するようになると、大豆定期は12ドル台での定着が躊躇された。中国向け船積みは週間成約高を遙かに上回る数量が持続されているが、成約動向は一時のような活発さが失われて、仕向け地不明からの振替が半分を超えるようになった。中国がブラジルからの新穀出回りを意識して、米国産からの買付を調整し始めたと判断するのは、時期尚早かも知れないが、中国の実需家も4年振りの高値で採算の確保に苦慮していると推測された。

トウモロコシの成約状況は、中国の占める割合が比較的低いので大豆のような印象は乏しいが、成約報告に産地オプション付きの成約が増えていることは、4ドルを超える高値であれば代替の産地を検討する水準に到達したという認識になる等、様々な輸出市場の話題を拾い出すと、相場が天井圏に到達したと言える材料が散見されるが、CFTCの報告で大手投機筋の買持方針に変化は確認出来ず、「モウはマダ」という環境が継続した。

■大豆相場に転換点が訪れた感謝祭前後の市場動向

感謝祭休日を控えてトランプ大統領がバイデン次期大統領への政権移譲手続を承認したことで、市場を取り巻いていた不安材料が一つ一つ解消に向かった。穀物市場では、南米産地の天候不安が大豆需給の逼迫化懸念を強めて、2016年以来6月以来の高値になる12ドルを達成したが、原油相場の大幅上昇にもかかわらずトウモロコシへの波及は限定的であり、小麦は国際市場の供給圧力を前に上値が重くなった。

感謝祭休日を前にして、休日シーズンの開始を意識して市場参加者が持ち高整理に動き、利益の確定売りが広まった。大豆は半ば壊れたレコードのように、米国の作柄が予想外に少なかったことや、南米産地の降雨不足や播種作業の遅延を材料に、旺盛な中国の需要に相応しい需給の均衡点が探索された。過去にはそうした過程で、不幸にして投機的な判断をした実需家が高値を追えずに脱落するようになると、市場参加者が相場の行き過ぎに気付き、それを契機に需給の均衡がもたらされることが多かったが、大豆の場合は国際市場での最大の購入者が中国になるので、そうした話題も中国発の噂が絡むことが多かった。国家ぐるみの品質問題（未承認GMO種子や、滅菌処理済み種子の混入など）で、多くの輸出業者がこれまでも幾度か、中国の着地検査制度に泣かされてきた。今回も、大豆の先物価格が12ドルの節目に到達するや否や、輸出市場の噂としてメディアが中国の中小輸入業者が大豆契約の清算や、先送りを要請し始めたと報じるようになった。

■手仕舞い色を強めた12月需給報告を控えての穀物市場

トウモロコシ自体に際立った取引材料は提供されなかったが、原油相場の上昇がエタノール工場の稼働向上に繋がり、冬場を迎えた飼料需要の増加など、国内消費の堅調さが支援材料になった。南米産地の天気回復が、アルゼンチン及びブラジルのトウモロコシの作柄見通しの改善に繋がると期待されたが、南部産地に多いブラジル1期作は依然として土壌水分不足の状態に置

かれて、民間調査会社が作柄見通しを小幅に下方修正し始めた。大豆と異なり、ソルガムを含めて中国の飼料穀物への需要が高水準で持続する一方、トウモロコシは国際市場での競合が少ない時期になるため、輸出需要も安定していることが支援材料に働くことになった。

■飼料用途の需要拡大が顕著になった12月の需給報告

12月度の需給報告は米国の生産高推定を伴わないため、変動要因は冬作物の収穫や夏作物の播種作業が進んだ南半球の作柄見通しが中心になるが、今年は米国産が予想外の減産になったことで、南半球からの供給量に大きな期待と関心が寄せられた。米国需給については、米中通商合意が存在することで、米国農務省は輸出需要に対する強気の見解を示してきたが、今回は小麦の流通年度の半分が経過し、大豆やトウモロコシは概ね上半期の受渡分の輸出商談が終了する段階での見直しになった。重要な生育段階を迎えた南米産地に散発的な降雨が観測され始め、目先の天気予報に降水確率が高くなったことで、大豆を先頭を買持の手仕舞いが始まり、それぞれの下値支持線を確認する展開になった。そして、チャートが目先の安値を確認した姿を見せるようになると、需給報告での予期せぬ国際需給の引き締まりを心配して、需給バランスの急変に備えた買い戻しが支援材料になった。

■予期せぬ、月例需給報告後の相場展開

国際市場の供給余力の増加予想に対して、米国農務省が中国での飼料用途の需要増大の可能性を示したことで、小麦は一週間の値動き幅が54セントにもなった。即ち、価格次第では、小麦が飼料穀物の仲間に入り、トウモロコシに代替する商品であることが再認識された。テクニカルに、シカゴ小麦が575セントの節目を割り込んで売られ過ぎ警戒感を強めたところに、米国農務省が予想に反して米国需給の小幅な引き締まり、国際需給では小麦の飼料用需要の増加を指摘したことが支援材料になって、投機筋が小麦を売りの軸足

にしたスプレッド取引の巻き戻しに動いたと推察されるが、150セントにまで縮小していた小麦とトウモロコシのとの較差が急拡大に転じた。

トウモロコシはこれまで大豆とのスプレッド、即ち次年度の耕作面積争いを想定したスプレッドに関心が寄せられることが多く、小麦とのスプレッドは、ファンダメンタルズの観点で比較的低リスクと思われていたが、ハイリスク・ハイリターンの取引になってしまった。小麦の国際供給量を判断すると、需給の均衡には小麦が飼料穀物化する必要があるとの見方が、ロシア政府が下半期の小麦輸出の規制に動くなど人為的な政策の力で歪められる可能性に対する反応であり、トウモロコシ自体のファンダメンタルズとは無関係である。日々の取引高も大豆を下回ることが常態化する等、4ドル台のトウモロコシは米国農家にとっては不満のない水準らしく、シカゴ定期では長短の移動平均線が収束する425セントの辺りで、需給の均衡が実現した感触が強まった。

米国農務省12月需給報告

① トウモロコシ

トウモロコシの米国需給は、全項目が11月報告から据え置きになった。一見、飼料穀物の需給には何も変化がなかったように見えるが、ソルガムの輸出見通しが15百万ブッシェル多い275百万ブッシェル、農家価格見通しが前月より35セント高の4.40ドルに上向き改訂され、ソルガムは中国向け輸出成約累計の大幅増加が反映された。

市場は国際需給について、期末在庫見通しが前月予測の2億9,143万トンから2億8,926万トンにと220万トンの引き締めりを見込んでいた。米国農務省の発表は、全世界の生産高は前年度から2,735万トンの増産で11億4,356万トンと予測され、前月予測より106万トン少なくなった。アルゼンチンの作柄見通しの悪化100万トン、欧州の作柄の下方修正50万トン、そしてカナダの減産44万トン等が、予期せぬウクライナの上向き改訂100万トンで一部相殺された。

トウモロコシの需給予測

流通年度	19／20年度		20／21年度				
月次予測	11月	12月	10月	11月	12月	前年比	前月比
作付面積	89.7	89.7	91.0	91.0	91.0	1.3	0.0
収穫面積	81.3	81.3	82.5	82.5	82.5	1.2	0.0
単収	167.4	167.5	178.4	175.8	175.8	8.3	0.0
生産高	13,620	13,620	14,722	14,507	14,507	887	0
期首在庫	2,221	2,221	1,995	1,995	1,995	▲ 226	0
輸入	42	42	25	25	25	▲ 17	0
総供給量	15,883	15,883	16,742	16,527	16,527	644	0
飼料残渣	5,827	5,827	5,775	5,700	5,700	▲ 127	0
産業用途	6,282	6,282	6,475	6,475	6,475	193	0
エタノール	4,852	4,852	5,050	5,050	5,050	198	0
国内消費	12,109	12,109	12,250	12,175	12,175	66	0
輸出需要	1,778	1,778	2,325	2,650	2,650	872	0
総需要量	13,887	13,887	14,575	14,825	14,825	938	0
期末在庫	1,995	1,995	2,167	1,702	1,702	▲ 293	0
在庫率（％）	14.3	14.3	14.9	11.5	11.5	▲ 2.8	0.0
農家価格	3.56	3.56	3.60	4.00	4.00	0.44	0.00

注：面積は100万エーカー，単収はブッシェル・エーカー，生産・消費は100万ブッシェル。

ところが，中国の飼料用需要は前月より350万トン多い，また前年度よりも550万トン増の1億9,850万トンに上向き改訂された。その結果，輸入見通しは前月予測より350万トン多い1,650万トンに引き上げられ，前年度実績760万トンから倍以上が見込まれている。中国の畜産業の復旧と拡大になるが，粗粒穀物合計でも今年度の輸入量は3,085万トンと前年度の1,750万トンからの大幅増加が見込まれている。ところが，トウモロコシの輸出需要見通しは前月予測から120万トンの増加で1億8,597万トンにとどまり，期末在庫は前月予測より247万トン少ない，2億8,896万トンになった。期首在庫から1,446万トンの取り崩しを見込んでいることになるが，専ら中国（902万トン）と米国（745万トン）で在庫の取り崩しが発生するとの予測になった。

結果として，トウモロコシの対消費在庫率は前年度の23.3％から21.5％に低下が見込まれるが，国際市場への供給という観点では，南米産地からの供給余力次第と言える。ブラジルからは3,900万トン，アルゼンチンから3,400

世界のトウモロコシ需給バランス（2020／21年度）

国名	期首在庫	生産高	輸入	飼料	内需	輸出	期末在庫
世界11月予測	30,333	114,463	17,823	72,571	115,654	18,477	29,143
世界12月予測	30,342	114,356	17,957	72,798	115,801	18,597	28,896
中国	20,053	26,000	1,650	19,850	28,550	2	19,151
除 中国	10,289	88,356	16,307	52,948	87,251	18,595	9,745
米国	5,068	36,849	64	14,479	30,926	6,731	4,323
除 米国	25,274	77,507	17,893	58,319	84,875	11,866	24,573
メキシコ	329	2,800	1,730	2,600	4,425	90	344
アルゼンチン	287	4,900	1	1,100	1,500	3,400	288
ブラジル	499	11,000	150	6,000	7,000	3,900	799
欧州	718	6,370	1,900	5,900	8,040	220	728
ウクライナ	148	2,950	2	490	610	2,400	89
ロシア	83	1,400	4	990	1,100	310	77
南アフリカ	192	1,600	0	700	1,280	280	232
東南アジア	381	3,030	1,865	4,040	4,840	56	380
韓国	200	8	1,200	960	1,205	0	203
日本	139	0	1,600	1,240	1,605	0	134

単位は10,000トン。

万トン、合計7,300万トンと国際貿易量の約40%を依存する需給バランスになっている。

②大豆

米国需給について、市場は期末在庫見通しを168.0百万ブッシェル（範囲は120－190百万ブッシェル）と11月度予測から、更に需給が引き締まると予想していた。世界の期末在庫も前回予測86.52百万トンから85.11百万トンに、米国の引き締めり相当の減退を見込んでいたが、米国の期末在庫予測は175百万ブッシェルと発表された。国内搾油消費見通しが15百万ブッシェル引き上げられて2,195百万ブッシェルと、過去最高が見込まれたことで、期末在庫は前月予測より15百万ブッシェル少なくなり、対消費在庫率は3.9%に低下して、来年の端境期は僅か2週間の在庫で遣り繰りせねばならなくなった。このため、農家価格見通しは更に15セント引き上げられて1,055セントに改訂された。（搾油

大豆の需給予測

流通年度	19／20年度		20／21年度				
月次予測	11月	12月	10月	11月	12月	前年比	前月比
作付面積	76.1	76.1	83.1	83.1	83.1	7.0	0.0
収穫面積	74.9	74.9	82.3	82.3	82.3	7.4	0.0
単収	47.4	47.4	51.9	50.7	50.7	3.3	0.0
生産高	3,552	3,552	4,268	4,170	4,170	618	0
期首在庫	909	909	523	523	523	▲ 386	0
輸入	15	15	15	15	15	0	0
総供給量	4,476	4,476	4,806	4,709	4,709	233	0
搾油消費	2,165	2,165	2,180	2,180	2,195	30	15
種子	96	96	100	103	103	7	0
残渣	16	16	36	35	35	19	0
輸出需要	1,676	1,676	2,200	2,200	2,200	524	0
総需要量	3,953	3,953	4,516	4,519	4,534	581	15
期末在庫	523	523	290	190	175	▲ 348	▲ 15
在庫率	13.2	13.2	6.4	4.2	3.9	▲ 9.3	▲ 0.3
農家価格	8.57	8.57	9.80	10.40	10.55	1.98	0.15

注：面積は100万エーカー，単収はブッシェル・エーカー，生産・消費は100万ブッシェル。

世界の大豆需給バランス（2020／21年度）

国名	期首在庫	生産高	輸入	内需	輸出	期末在庫
11月予測	423	6,014	1,101	5,935	1,192	411
12月予測	484	6,027	1,118	5,948	1,200	481
中国	65	1,774	110	1,869	15	65
除 中国	419	4,252	1,008	4,079	1,185	416
米国	84	1,154	16	1,043	125	86
除 米国	400	4,873	1,102	4,905	1,075	395
アルゼンチン	39	772	0	210	565	42
ブラジル	35	875	17	770	115	42
欧州	57	319	42	264	83	71
インド	15	171	340	515	1	10
北アフリカ	84	107	161	261	16	75

単位は10,000トン。

消費の増加は、大豆ミールと大豆油伴に、輸出需要の増加に反映された。即ち、経済不振に作柄見通しの悪化が重なったアルゼンチンの搾油が低下して、その埋め合わせを米国が担うと理解され、原料高を反映して大豆ミールは370.00ド

ル／st、大豆油も36.00セント／ポンドにと価格見通しが引き上げられた。

米国農務省の需給報告は、米国需給が引き締まったが、国際市場にはマズマズの供給余力が存在するという姿が描かれている。トウモロコシ・大豆・小麦3品ともに中国が重要な役割を担っているのが、最近急速に強まった米国ドル安／人民元高が、今後どのような影響を及ぼすのかが興味深い。その影響は三者三様になるが、2年半振りの米国ドル安が、小麦の輸出競争力を幾分か高めたという段階である。大豆やトウモロコシは、南米諸国の旧穀が払底しているので、当面は米国にしか供給余力はなく、相対評価ではなく、絶対評価で買える／買えない（採算にあうか合わない）の段階にある。米国や世界各国で新型コロナ感染拡大が深刻な段階（医療崩壊の危機）を迎えていることが報道されているが、株式市場では新型コロナウイルスに有効なワクチンの実用化が進展したことで、目先の危機よりも将来の夢に期待する雰囲気強めている。外交・経済チームに続いて、バイデン次期政権は内政チームの陣容を発表し、農務長官にはオバマ政権時代のトム・ビルザック氏が指名されたが、USTRにはオバマ政権の中国担当官僚キャサリン・タン女史が起用されることになった。議会は、緊急性の高い包括的歳出法案に関しては一週間の先送りで合意したが、市場が期待していた追加の経済支援法案は後回しにされてしまった。早晩、米国の景気回復に貢献する財政政策の発動は確実視されるので、今はコロナワクチンの緊急使用許可が最優先されるということのように見える。その一方、外為市場では、英国が合意なきEUからの離脱という、独立国家としての矜持を保つ道を選択する公算が高くなった。国家主権とは何かを考えさせられるが、米国ドル安はドル建て商品の価値にデフレを起こし、欧州などは早くも輸出需要への悪影響を懸念するようになった。国際社会は、バイデン次期政権の発足を心待ちにしているようだが、期待通りに市場や大手投機筋が理解して行動するのは、新型コロナ同様によく見通せない部分になっている。

Feed Trade 総目次

(2020年 1 ～ 3 月号～10～12月号)

Vol.56 No.1～4 (通巻485号～488号)

●WEB会議・座談会

米国産トウモロコシの需給とシカゴ相場動向（島田達也，高橋千明，
浦丸公猛，近藤弘彬，渡辺祐吉，増山昂平，安田隆一郎，堀口泰幹）
..... 7 ～ 9 月号

●解説，内外の原料事情

遺伝子組換えおよびゲノム編集技術を用いた品種改良
一現状と今後（笠井美恵子）..... 4 ～ 6 月号
新たな食料・農業・農村基本計画について～我が国の食と活力ある
農業・農村を次の世代につなぐために～（農林水産省大臣官房政策課）
..... 7 ～ 9 月号

昆虫という生命資源の利活用と社会課題の解決（葦荊晟矢）.....10～12月号

●セミナー，講演会

NAEGA主催Contract and Best Practices Seminar開催 1 ～ 3 月号
海運セミナー・ドライバルクマーケットの動向（角谷 悟）.....10～12月号
秋季為替セミナー・最近の金融情勢について（佐藤 完）.....10～12月号

●挨拶，プロフィール，お知らせ，その他

新春のご挨拶（佐野 豊）..... 1 ～ 3 月号
年頭のご挨拶（水田正和）..... 1 ～ 3 月号
「新春賀詞交礼会」盛大に開催 1 ～ 3 月号
「第24回JFTAボウリング大会」を開催 1 ～ 3 月号
『Feed Trade』総目次（2019年 1 ～ 3 月号～10～12月号）..... 1 ～ 3 月号

私のプロフィール（永田義典，白木友宏）	4～6月号
理事長新任あいさつ（萬田義人）	7～9月号
令和2年度新役員，専門委員会の委員決まる	7～9月号
私のプロフィール（立川義大）	7～9月号
秋季為替セミナー開催のご案内	7～9月号

●アンケート，10大トピックス

2019年10大トピックス	1～3月号
第51回（2019年）新春アンケート当選者発表	1～3月号
第52回（2020年）Feed Tradeアンケートのご案内	1～3月号
第52回（2020年）Feed Tradeアンケート結果	4～6月号

●随筆

新春海外だより（坪井康人，木村駿佑，千木良亮，近藤弘彬，

満山一輝，長尾泰宏，木中一博，古川海太）	1～3月号
寄稿・新型コロナウイルス影響について（在宅とれーだー）	7～9月号
シリーズ●わが社「自慢の逸品」	

㊹農業法人マイベジタブルのご紹介（㈱マイベジタブル）	1～3月号
----------------------------	-------

㊹燦然（さんぜん）のご紹介（伊藤忠飼料㈱鶏卵事業部）	4～6月号
----------------------------	-------

㊹豊田通商の完全養殖クロマグロ事業（㈱ツナドリーム五島・	
------------------------------	--

㈱ツナドリーム沖縄）	7～9月号
------------	-------

㊹「愛情を品質に。」～人とペットの想いをつなぐ～（ペットライン㈱）	
-----------------------------------	--

	10～12月号
--	---------

●わが社飼料関連部署の新人紹介

伊藤忠商事㈱，三菱商事㈱，豊田通商㈱，丸紅㈱，兼松㈱，

三井物産㈱	7～9月号
-------	-------

シリーズ●「おらが国の畜産事情」

⑫神奈川県畜産について（神奈川県環境農政局農政部畜産課）

..... 1～3月号

シリーズ●各地の食生活

⑪ブラジル料理（片岡寿平）..... 4～6月号

⑫ビール天国ポートランド（藤岡雄太）..... 7～9月号

⑬冬の風物詩——ミネソタ（長島太郎）..... 10～11月号

シリーズ●駐在員の奥様便り

⑪ホーチミンあれこれ（岡本けやき）..... 4～6月号

⑫2020年上海便り（芳賀彩加）..... 7～8月号

シリーズ●各商社の担当者紹介

⑪伊藤忠商事株式会社＝わが社の主原料担当者4名の横顔／居樹 拓

..... 10～12月号

●新バランス（伊藤忠商事グループ・㈱食料マネジメントサービス）

<185> 1～3月号

●New Balance

<1>, <2>（茅野信行）..... 4～6, 7～9月号

<3>（岩崎正典）..... 10～12月号

●編集後記..... 1～3～10～12月号

●表紙

テルエルの大聖堂のドーム（スペイン）..... 1～3月号

オシュン＝オシヨグボの聖なる木立ち（ナイジェリア）..... 4～6月号

バガン遺跡（ミャンマー）..... 7～9月号

チキトスのイエズス会伝道施設群（ボリビア）..... 10～12月号

新年を迎え、より一層の誌面の充実を目指して頑張ります。

本年もご愛読のほどよろしくお願い致します。

Feed Trade 編集委員会

委員長	渡 辺 祐 吉	(三井物産)
委員	三 村 賢 司	(カーギルジャパン)
	居 樹 拓	(伊藤忠商事)
	川 畑 幸 祐	(兼松)
	石 塚 素 子	(丸紅)
	高 田 佳 和	(三菱商事)
	増 山 昂 平	(双日)
	田 中 政 暉	(豊田通商)
編集事務局	三 笥 敏 和	(飼料輸出入協議会)
	西 田 深	(♪)
	宮 本 か お り	(♪)

(商社名はアルファベット順)

編 集 後 記



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新年が皆様にとって幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

2021年の干支は「辛丑」ということで、牛のように泰然自若とじっくり耐え、そしてその後の芽吹きを迎えようとする年だそうです。新型コロナウイルスにもしっかりと耐えて今年の幸福を掴みたいものです。

編集委員会では、毎年恒例のその年の10大トピックスを纏めました。

米国のトウモロコシ生産は、作付面積の増加と播種後の順調な生育環境や無事にポリネーションを終えたことから史上最高の単収と生産量が期待されていました。しかし、実際の作付面積が想定より少なく、また8月に入りアイオワ州中心に「デレーチョ」に襲われ、終わってみれば単収も生産量も記録更新とはなりませんでした。それでも8年連続の豊作ではあります。シカゴ定期は当初弱気一辺倒だったものが、生産量の減少に加え中国の米国産トウモロコシの爆買いが入り、一転4ドルの大口に定着してしまいました。

他国の大統領選挙にメディアがこれだけ連日連夜報道したのは、恐らく日本だけだったのではないのでしょうか。バイデン次期大統領の閣僚人事を見ると、主要ポストに経験豊富な実力者を配しており安定感を感じます。米国の多彩な人材は羨ましい限りです。日本をはじめ、民主主義を標榜する国々は、このバイデン次期大統領によって政策の予見性が高まり、世界を安定化の方向に向かわせるだろうと期待しています。しかし、トランプ大統領を支持した多くの有権者の存在も事実であり、経済格差が大きな起因であろう米国の深い構造的分断には、バイデン政権も対応に苦心するでしょう。

番外編では、新型コロナウイルスによる強制的働き方改革（リモートワークの普及）と鬼滅の刃と「はやぶさ2」が入りました。「はやぶさ2」の成功は、コロナで沈みがちな世相に一筋の光明を与えました。

鶏インフルが関東にも拡大しており、またコロナによる自粛要請やインバウンド需要の喪失による畜産物価格の低迷、更に飼料原料の高騰も加わって飼料畜産業界は厳しい環境を迎えるであろうことは容易に想像できます。業界が何とかこの試練を乗り越えていくことを切に願っています。（T.M.）

第57巻第1号／令和3年1月15日発行

発行人 三笥敏和／発行所 東京都港区西新橋 1-11-1 丸万一号館 飼料輸出入協議会

郵便番号 105-0003 電話 03 (6457) 9550